

2020年度 経営学部 履修の手引き

(2019年度以降入学者用)

※履修の手引きは2021年度以降配布しませんので、卒業まで大切に保管してください。
また、手引きの内容に訂正や変更等が発生した場合は、経営学部Web掲示板でお知らせします。

経営学部履修の手引きについて

この冊子（以下、手引き）には、経営学部で学び、単位を修得し、進級・卒業するために必要な内容が記載されています。毎年、年度初めに手引きを一読し、記載内容を必ず確認してください。また、手引きの記載内容をすべて確認・理解したうえで、単位修得や進級・卒業するために必要な手続きを行わなければなりません。履修に関することなどで不明な点がある場合は、勝手な解釈や判断をせず、経営学部窓口で確認してください。

履修の手引きは 2021 年度以降配布しませんので、卒業まで大切に保管してください。また、手引きの内容に訂正や変更等が発生した場合は、法政大学ポータルサイト（Hoppii）でお知らせします。法政大学ポータルサイト（Hoppii）には、その他にも授業や試験等に関わる重要なお知らせを掲示しますので、必ずこまめに確認するようにしてください。

- 法政大学ポータルサイト（Hoppii）から、履修登録や成績確認、授業に関わるシステムにアクセスできます。

URL <https://hoppii.hosei.ac.jp>

QR



- メール自動転送設定について

法政大学情報システムや授業支援システムでは、システム上で授業担当教員や学部窓口からの各種お知らせや連絡等を確認することができます。初期設定でそれらは皆さんの大学付与のメールアドレス（～@stu.hosei.ac.jp）宛に転送される設定になっています。授業関連の大切なお知らせが届くこともありますので、普段から大学付与のメールアドレスに届くメールを確認するようにしてください。

また、下記より皆さんが普段使用されているメールアドレスに大学付与のメールアドレスに届いたメールを転送することもできます。

メール転送設定：<https://netsys.hosei.ac.jp/protected/manual/gmail/manual-gmail-041.html>

2020 年度経営学部履修の手引き

目 次

2020 年度（令和 2 年度）学年暦

学部項目

I	履修登録の前に	
	セメスター制について	学部－(2)
	時間割表（事前記入用）	学部－(3)
	2019 年度以降入学者が卒業するためには	学部－(6)
	2019 年度以降入学者が進級するためには	学部－(8)
	進級に関する規定	学部－(8)
	2019 年度以降入学者 履修可能単位数	学部－(9)
	科目一覧と卒業所要単位（ILAC 科目編）	学部－(10)
	科目一覧と卒業所要単位（専門教育科目・連環科目編）	学部－(14)
	総合科目一覧	学部－(16)
	履修上の注意	学部－(19)
	1. ILAC（アイラック）科目 0 群～3 群	学部－(19)
	2. 外国語の履修（ILAC 科目 4 群）	学部－(21)
	A. ILAC 科目 5 群（体育科目）の履修	学部－(27)
	B. 専門教育科目・連環科目の履修	学部－(28)
	C. GBP 専門教育科目の履修	学部－(31)
II	履修登録	
	履修科目の登録について	
	1. 履修登録の流れ	学部－(33)
	2. 履修科目の登録	学部－(34)
	3. 履修科目登録（Web 登録）について	学部－(35)
	4. 履修登録科目確認通知書	学部－(36)
	5. 登録エラーの訂正	学部－(36)
	6. 秋学期初めの秋学期科目追加・変更・削除について	学部－(37)
III	ILAC 科目/専門教育科目	
	ILAC 科目の目的と内容	学部－(38)
	経営学部スタディ・アブロード・プログラム	学部－(43)
IV	授業/試験/成績	
	授業について	
	1. 授業時間割表	学部－(45)
	2. 掲示板	学部－(45)
	3. 教科書・参考文献などの指定	学部－(45)
	4. 休講	学部－(45)
	5. 教授室	学部－(45)
	6. 教員の住所について	学部－(45)
	7. 授業の欠席について	学部－(45)
	試験について	

1. 試験	学部一 (46)
2. 試験時間割	学部一 (46)
3. 受験上の注意	学部一 (46)
4. レポートの提出の仕方	学部一 (47)
5. 不正行為に対する措置	学部一 (47)
未受験科目代替措置 (追試験等) について	学部一 (49)
再試験について	
1. 進級再試験 (3年次生のみ)	学部一 (51)
2. 卒業再試験 (4年次生のみ)	学部一 (51)
3. 試験の方法	学部一 (51)
4. 諸注意・その他	学部一 (51)
成績および進級・卒業発表について	
1. 成績評価	学部一 (52)
2. GPA制度	学部一 (52)
3. 成績発表	学部一 (52)
4. 進級および卒業発表	学部一 (53)
早期卒業について	
1. 事前申請	学部一 (53)
2. 早期卒業時の要件	学部一 (53)
V その他	
証明書に関する諸注意	学部一 (54)
経営学部生のための用語集について	学部一 (55)
経営志林について	学部一 (55)
オフィスアワーについて	学部一 (56)
法政大学ポータルサイト (Hoppii) について	学部一 (56)
教職課程について	学部一 (58)
資格課程について	学部一 (58)
「成績優秀者の他学部科目履修制度」について	学部一 (59)
経営学部独自の奨学金について	学部一 (59)

VI 市ヶ谷共通項目について

HOSEI

UNIVERSITY

2020 年度履修の手引き

学部項目

2020年度授業予定表

2020年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 ○	4 ○
5 ○	6 ○	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20 ☆	21 ☆	22 ☆	23 ☆	24 ☆	25
26	27	28	29	30		

・4月10日(金)創立記念日は5月1日(金)に振替
 ・4月30日(木)はレクリエーションデーにより休講

2020年5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6 ★	7 ★	8 ★	*9
10	11	12	13	14	15	*16
17	18	19	20	21	22	*23
24	25	26	27	28	29	30
31						

・5月1日(金)は創立記念日の振替により休講
 ・5/9・16・23(土)5時限目以降補講

2020年6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

・6/27(土)5時限目以降補講

2020年7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	*4
5	6	7	8	9	10	*11
12	13	14	15	16	17	試18
19	試20	試21	試22	試23	24	試25
26	試27	試28	サ29	サ30	サ31	

・7/4・11(土)5時限目以降補講

2020年8月

日	月	火	水	木	金	土
						サ1
サ2	サ3	サ4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2020年9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	才11
才12	才13	才14	才15	才16	才17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

9月中旬 春学期成績発表
 9月下旬 秋学期科目追加・変更・削除期間
 9/12(土)9月卒業学位交付式/秋学期入学式

2020年10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	*17
18	19	20	21	22	23	*24
25	26	27	28	29	30	*31

10月上旬 履修取消
 ・10/17・24・31(土)5時限目以降補講

2020年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	*補4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

・11/4(水)1~2時限補講
 ・11/4(水)3時限目以降大学祭準備のため休講予定
 ・11/5(木)~11/8(日)大学祭実施予定

2020年12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2021年1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	*補15	16
17	18	補19	補20	試21	試22	試23
試24	試25	試26	試27	試28	試29	試30
試31						

・1/15(金)1~2時限補講、大学入学共通テスト準備のため3限以降を休講
 ・1/16(土)は大学入学共通テスト実施のため休講

2021年2月

日	月	火	水	木	金	土
		試1	試2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

2021年3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	ス9	ス10	ス11	ス12
ス13	ス14	ス15	ス16	ス17	ス18	ス19
ス20	ス21	ス22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

3月上旬 秋学期成績/進級卒業発表
 3/24(水)学位授与式

	授業日
*	授業日(5時限目以降補講)
○	Web履修抽選日(10:00~24:00)
☆	Web履修登録日(10:00~24:00)
★	履修取消日(10:00~24:00)

補	補講日
*補	補講日(1~2時限補講)
試	定期試験日
サ	サマーセッション
オ	オータムセッション
ス	スプリングセッション

※ 授業や履修のスケジュールは、変更になる場合があります。法政大学ホームページやHoppiiを参照してください。

INDEX

時期	1年間の流れ
4月	成績通知書と履修の手引きで今年度履修する科目をリストアップ（2～4年次生）
	資料配布／各種ガイダンス
	春学期授業開始
5月	Web履修登録 … 1年間の通年科目、春学期および秋学期科目、全てを登録してください。
	履修登録科目確認通知書を公開
	登録科目の取消
6月	
7月	春学期試験
8月	追試験 サマーセッション
9月	オータムセッション
	秋学期授業開始／春学期成績発表 再試験
	秋学期科目の追加、変更、削除 … 詳細はP.学部－(34)参照
10月	
11月	
12月	
1月	秋学期試験
2月	追試験
3月	秋学期成績発表／進級・卒業発表 再試験
	スプリングセッション

INDEX

履修登録の前に

履修登録

ILAC科目
専門科目

授試成 業験績

その他

※追試験、再試験の日程は、定期試験時間割とともに発表します。

セメスター制について

1. セメスター制とは？

経営学部では、将来の「セメスター制」の完全導入をにらんで、「セメスター制」の要素を部分的に導入しています。その概要は次の通りです。

- (1) 履修科目の登録は、年度の初めに1年間分を全て登録します。ただし、秋学期の初めに秋学期科目の「追加」「変更」「削除」を認めます（通年科目の「追加」「変更」「削除」はできません）。詳しくはP.学部－(37)を参照してください。
- (2) 各科目群を、通年の履修が登録上必要な「通年科目」と、春学期（または秋学期）で履修が完結する「春学期（または秋学期）科目」に分けます。前者の成績評価は年度末、後者の成績評価は春学期（または秋学期）末となります。「通年科目」、「春学期（または秋学期）科目」の詳細については、「**2. 履修時期・登録方法別にみた科目の区分**」を参照してください。
- (3) 同じ科目名でも入学年度により科目の区分（通年科目・春学期または秋学期科目）の取り扱いが異なる場合がありますので、注意してください。

2. 履修時期・登録方法別にみた科目の区分

区 分	説 明
通年科目	・元々、通年で履修する科目（I、IIの表記なし）
	・科目名称はI、IIに分かれているが、I、IIをセットとして通年で履修する科目（この場合は、「I・II」と表記）
	・科目名称は1・2、3・4、5・6に分かれているが、それぞれをセットとして通年で履修する科目
春学期科目 秋学期科目	・元々、春学期（または秋学期）のみに履修する科目（I、IIの表記なし）
	・科目名称がI、IIに分かれており、Iは春学期、IIは秋学期に、別々に履修できる科目（この場合は、「I／II」と表記）
	・「I／II」科目であっても、春学期（または秋学期）に寄せて開講することがあります。この場合でもあくまで別々の科目なので、履修登録はそれぞれの科目について行ってください。
	・科目名称が1、2、3、4、5、6に分かれており、1、3、5は春学期、2、4、6は秋学期に、別々に履修できる科目（この場合は「1／2」、「3／4」、「5／6」と表記）

(注1) 各科目の履修に当たっては、「Web シラバス」を参照してください。「春学期（または秋学期）科目」であっても、年間での履修が学習上望ましい場合があります。

(注2) 連環科目の中の他学部公開科目は、当該他学部における登録方法によります。

時間割表（事前記入用）

登録する科目が決定したら、**今年度1年間の時間割**を記入し、Web履修時に参照しながら入力しましょう。
 通年科目、曜日・時限指定のない「集中・その他」の授業も忘れずに記入しましょう。

履修登録の前に

		月		火		水		木		金		土	
		番号	科目名・教員名										
1限	春学期・通年		・ (単位)										
	秋学期		・ (単位)										
2限	春学期・通年		・ (単位)										
	秋学期		・ (単位)										
3限	春学期・通年		・ (単位)										
	秋学期		・ (単位)										
4限	春学期・通年		・ (単位)										
	秋学期		・ (単位)										
5限	春学期・通年		・ (単位)										
	秋学期		・ (単位)										
6限	春学期・通年		・ (単位)										
	秋学期		・ (単位)										
集中・その他		番号	科目・教員名										
			(単位)										

2019 年度以降入学者

- ・ 卒業するためには
- ・ 進級するためには
- ・ 履修可能単位数

2019年度以降入学者が卒業するためには

経営学部を卒業し、学士（経営学）の学位を得るためには在学期限内にILAC科目、専門教育科目、連環科目について下記の単位規程を満たさなければなりません。1単位でも不足したり、間違いがあると卒業できませんので注意してください。

<ILAC科目4群の履修パターンがパターンAまたはパターンBの学生>

区分・系列			単位規程			系列ごと単位規程と下記要件を同時に満たすこと					
			経営学科	経営戦略学科	市場経営学科						
I L A C （ ア イ ラ ッ ク ） 科 目	1 0 0 番 台	基礎科目	0群	選択			14単位以上	22単位以上			
			1群	4単位以上							
			2群	4単位以上							
			3群	4単位以上							
			5群	2単位以上4単位まで							
	2 0 0 番 台	外国語科目	4群	英語	4単位			8単位	44単位以上		
				諸外国語	4単位						
			リベラルアーツ科目	0群	選択					6単位以上	10単位以上
				1群	2単位以上						
				2群	2単位以上						
3群	2単位以上										
4群	選択										
4群	外国語科目	諸外国語	2単位			4単位以上					
		英語または諸外国語（※注1）	2単位以上								
		選択科目（英語・諸外国語）	選択								
専門教育科目	専門入門科目		100番台	14単位以上			68単位以上	88単位以上			
			200番台	4単位以上							
	経営学科専門科目		16単位以上			選択			選択		
	経営戦略学科専門科目		選択	16単位以上		選択					
	市場経営学科専門科目		選択	選択	16単位以上						
	グローバル・ビジネス/GBP科目（※注2）		経営学部・GBP設置科目	2単位以上（ただし、最高30単位まで）							
			グローバル・オープン科目								
特殊講義		グローバル教育センター設置科目									
演習（注3）		選択									
情報関係科目											
連環科目	経営学部設置科目										
	法律関係科目		4単位以上（ただし、最高20単位まで）								
	総合科目										
	公開科目										
卒業所要単位合計132単位以上（※注4参照）											

3年次修了までに卒業所要単位を修得していても、4年次に8単位以上（就職・資格科目は除く）を修得しなければ卒業することはできません（早期卒業は除く）。（※注5参照）

- ※注1 「英語」または「諸外国語（入学時に選択した言語です。変更はできません。）」のどちらかを選択します。詳細はP.学部－(21)を参照してください。
- ※注2 グローバル・ビジネス/GBP科目のSA認定科目は、16単位以下です。詳細については、P.学部－(43)を参照してください。
- ※注3 演習の単位についてはP.学部－(30)を参照してください。
- ※注4 休学中の者の単位および進級、卒業の扱いについては、市ヶ谷共通項目を参照してください。
- ※注5 留学、休学、または留級などで4年次に複数年在籍した場合、4年次であったときに修得した単位が年度をまたいで合計8単位以上あれば、「4年次で8単位以上」の卒業要件を満たします。

<ILAC科目4群の履修パターンが留学生パターンAの学生>

区分・系列			単位規程			系列ごと単位規程と下記要件を同時に満たすこと					
			経営学科	経営戦略学科	市場経営学科						
I L A C （ ア イ ラ ッ ク ） 科 目	1 0 0 番 台	基礎科目	0群	選択			14単位以上	22単位以上			
			1群	4単位以上							
			2群	4単位以上							
			3群	4単位以上							
			5群	2単位以上4単位まで							
	2 0 0 番 台	外国語科目	4群	日本語	4単位			8単位	44単位以上		
				英語または諸外国語	4単位						
			リベラルアーツ科目	0群	選択					6単位以上	10単位以上
				1群	2単位以上						
				2群	2単位以上						
3群	2単位以上										
4群	選択										
4群	外国語科目	日本語	4単位			4単位以上					
		選択科目（英語・諸外国語）	選択								
		100番台	14単位以上					68単位以上	88単位以上		
200番台		4単位以上									
経営学科専門科目		16単位以上	選択	選択							
経営戦略学科専門科目		選択	16単位以上	選択							
市場経営学科専門科目		選択	選択	16単位以上							
グローバル・ビジネス/GBP科目（※注2）		経営学部・GBP設置科目	2単位以上（ただし、最高30単位まで）								
		グローバル・オープン科目									
特殊講義		グローバル教育センター設置科目									
演習（注3）		選択									
情報関係科目											
連環科目	経営学部設置科目										
	法律関係科目		4単位以上（ただし、最高20単位まで）								
	総合科目										
	公開科目										
卒業所要単位合計132単位以上（※注3参照）											

3年次修了までに卒業所要単位を修得していても、4年次に8単位以上（就職・資格科目は除く）を修得しなければ卒業することはできません（早期卒業は除く）。（※注4参照）

- ※注1 グローバル・ビジネス/GBP科目のSA認定科目は、16単位以下です。詳細については、P.学部－(43)を参照してください。
- ※注2 演習の単位についてはP.学部－(30)を参照してください。
- ※注3 休学中の者の単位および進級、卒業の扱いについては、市ヶ谷共通項目を参照してください。
- ※注4 留学、休学、または留級などで4年次に複数年在籍した場合、4年次であったときに修得した単位が年度をまたいで合計8単位以上あれば、「4年次で8単位以上」の卒業要件を満たします。

2019 年度以降入学者が進級するためには

経営学部において、進級するためには、各年次ごとに下記の単位規程を満たさなければなりません。1 単位でも不足したり、間違いがあると進級できないので注意してください。

進級年次	単位規程
1 年次から 2 年次へ	第 1 年次に通算して 1 年以上在学し、20 単位以上（ILAC 科目、SSI 科目、専門教育科目、連環科目を問わず）修得していること。
2 年次から 3 年次へ	(1) 第 2 年次に通算して 1 年以上在学し、8 単位以上（ILAC 科目、SSI 科目、専門教育科目、連環科目を問わず）修得していること。 (2) (1) の単位を含め 48 単位以上（ILAC 科目、SSI 科目、専門教育科目、連環科目を問わず）修得していること。
3 年次から 4 年次へ	(1) 第 3 年次に通算して 1 年以上在学し、8 単位以上（ILAC 科目、SSI 科目、専門教育科目、連環科目を問わず）修得していること。 (2) ILAC 科目のうち 4 群（外国語科目）及び 5 群（保健体育科目）の卒業所要単位を満たしていること。 (3) (1) と (2) の単位を含め 90 単位以上（ILAC 科目、SSI 科目、専門教育科目、連環科目を問わず）修得していること。

(注 1) 上記単位には教職・資格関係科目は含みません。

(注 2) 進級は学年初め（4 月 1 日）を以って行います。

進級に関する規程

第1条	第 1 年次から第 2 年次へ進級する者は、基礎科目 ^{※注1} 、SSI 科目、専門教育科目、連環科目を問わず 20 単位以上を修得しなければならない。
第2条	第 2 年次から第 3 年次に進級する者は、第 2 年次修了までに次の単位を修得しなければならない。 (1) 基礎科目 ^{※注1} 、SSI 科目、専門教育科目、連環科目を問わず 48 単位以上。 (2) 基礎科目 ^{※注1} 、SSI 科目、専門教育科目、連環科目を問わず、2 年次に 8 単位以上。
第3条	第 3 年次から第 4 年次に進級する者は、第 3 年次修了までに次の単位を修得しなければならない。 (1) 基礎科目 ^{※注1} のうち 4 群(外国語科目)及び 5 群(保健体育科目)の卒業所要単位。 (2) 前号の単位を含め、基礎科目 ^{※注1} 、SSI 科目、専門教育科目、連環科目を問わず 90 単位以上。 (3) 基礎科目 ^{※注1} 、SSI 科目、専門教育科目、連環科目を問わず、3 年次に 8 単位以上。
第4条	前条における不足単位数がある場合は、次により第 3 年次の当該年度末に再試験を受けることができる。(※下記注 2 を参照) (1) 基礎科目 ^{※注1} と専門教育科目、連環科目をあわせて 2 科目まで(実験・実習・実技・演習科目を除く)。
第5条	第 4 年次においては、8 単位以上を修得しなければならない。また、第 3 年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。

(注 1) 基礎科目は「ILAC 科目」を指します。

(注 2) 第 4 条の再試験の対象となる具体的な科目は P. 学部-(51)を参照してください。

2019 年度以降入学者 履修可能単位数

教職・資格科目を履修しない場合 (1 ~ 4 年次)

通年科目	+	春学期 科目	+	秋学期 科目	≤	年間
		28 単位 以下		28 単位 以下		49 単位(*)

教職・資格科目を履修する場合 (1 年次)

通年科目	+	春学期 科目	+	秋学期 科目	≤	年間	+	教職 科目	+	資格 科目	≤	65 単位
		28 単位 以下		28 単位 以下		49 単位(*)		16 単位 以下		上限なし		

教職・資格科目を履修する場合 (2~4 年次)

通年科目	+	春学期 科目	+	秋学期 科目	≤	年間	+	教職 科目	+	資格 科目	≤	72 単位
		28 単位 以下		28 単位 以下		49 単位(*)		上限なし		上限なし		

- ・留級生も上記の履修可能単位数の制限が適用されます。
- ・(*) について、前年度までの累積 GPA が 3.0 以上の学生は、60 単位までの履修を認めます。

科目一覧と卒業所要単位 (ILAC 科目編)

		科目名	履修年次	単位
100番台	基礎科目	リベラルアーツ特別講座	1~4年	2
		課題解決型フィールドワーク	1~4年	1または2
		基礎ゼミ I / 基礎ゼミ II (定員: 30)	1年次のみ	各2
		情報処理演習 I (定員: 50)	1・2年	2
		日本古典文学 A / 日本古典文学 B	1~4年	各2
		日本近・現代文学 A / 日本近・現代文学 B	1~4年	各2
		日本文学 A / 日本文学 B	1~4年	各2
		外国文学 A / 外国文学 B	1~4年	各2
		文章論 (定員制)	1~4年	2
		言語学 A / 言語学 B (定員制)	1~4年	各2
	哲学 I / 哲学 II	1~4年	各2	
	法学 I / 法学 II	1~4年	各2	
	法学 (日本国憲法)	1~4年	2	
	マクロ経済学 I / マクロ経済学 II	1~4年	各2	
	心理学 I / 心理学 II	1~4年	各2	
	地理学 I / 地理学 II	1~4年	各2	
	教養数学 A / 教養数学 B	2~4年	各2	
	基礎数学 I / 基礎数学 II	1~4年	各2	
	入門物理学 A / 入門物理学 B	1~4年	各2	
	入門生物学 A / 入門生物学 B	1~4年	各2	
5群	スポーツ総合演習	1年	2	
	スポーツ総合演習 S	1~4年	2	
外国語科目	English1 I / English1 II	1年	各1	
	English2 I / English2 II	1年	各1	
	諸外国語 1 I / 諸外国語 1 II	1年	各1	
200番台	リベラルアーツ科目	法政学の探究 LA	1~4年	2
		法政学の探究 LB	1~4年	2
		日本文学と文化 LA / 日本文学と文化 LB	1~4年	各2
		日本文学と文化 LC / 日本文学と文化 LD	1~4年	各2
		日本文学と文化 LE / 日本文学と文化 LF	1~4年	各2
		日本文学と文化 LG / 日本文学と文化 LH	1~4年	各2
		外国文学と文化 LA / 外国文学と文化 LB	1~4年	各2
		外国文学と文化 LC / 外国文学と文化 LD	1~4年	各2
		外国文学と文化 LE / 外国文学と文化 LF	1~4年	各2
		文学と社会 LA / 文学と社会 LB	1~4年	各2
	文学と社会 LC / 文学と社会 LD	1~4年	各2	
	経済学 LA / 経済学 LB	1~4年	各2	
	心理学 LA / 心理学 LB	1~4年	各2	
	地理学 LA / 地理学 LB	1~4年	各2	
	地理学 LC / 地理学 LD	1~4年	各2	
	政治学 LA / 政治学 LB	1~4年	各2	
	数学特講 LA / 数学特講 LB	1~4年	各2	
	発展数学 I / 発展数学 II	2~4年	各2	
	教養物理学 LA / 教養物理学 LB	2~4年	各2	
	教養生物学 LA / 教養生物学 LB	1~4年	各2	
4群	ドイツの文化と社会 LA / ドイツの文化と社会 LB (定員: 30)	2~4年	各2	
	ドイツ語の世界 LA / ドイツ語の世界 LB (定員: 60)	1~4年	各2	
	フランスの文化と社会 LA / フランスの文化と社会 LB (定員: 30)	1~4年	各2	
	フランス語の世界 LA / フランス語の世界 LB (定員: 40)	1~4年	各2	
	フランス生活文化論 LA / フランス生活文化論 LB (定員: 40)	1~4年	各2	
5群	ロシアの文化と社会 LA / ロシアの文化と社会 LB (定員制)	2~4年	各2	
	ロシア語の世界 LA / ロシア語の世界 LB (定員: 60)	1~4年	各2	
5群	健康の科学 LA / 健康の科学 LB (定員制)	1~4年	各2	
	English3 I / English3 II	2年	各1	
4群	諸外国語 3 I / 諸外国語 3 II (注5)	2年	各1	
	諸外国語 4 I / 諸外国語 4 II (注6)	2年	各1	

科目名	履修年次	単位	単位規程		系列単位規程と下記要件を同時に満たすこと
			全学科		
キャリアデザイン入門	1年次のみ	2	選択	22単位以上	
キャリアデザイン応用 (注2)	1~4年	2			
大学を知らう <法政学>への招待 (注3)	1~4年	2			
倫理学 I / 倫理学 II	1~4年	各2	4単位以上	14単位以上	
論理学 I / 論理学 II	1~4年	各2			
東洋史 I / 東洋史 II	1~4年	各2			
西洋史 I / 西洋史 II	1~4年	各2			
日本史 I / 日本史 II	1~4年	各2			
宗教論 I / 宗教論 II	1~4年	各2			
芸術 A / 芸術 B	1~4年	各2	4単位以上		
政治学 I / 政治学 II	1~4年	各2			
社会学 I / 社会学 II	1~4年	各2			
文化人類学	1~4年	2			
社会思想 I / 社会思想 II	1~4年	各2	4単位以上		
入門化学 A / 入門化学 B	1~4年	各2			
サイエンス・ラボ A / サイエンス・ラボ B (定員制)	1~4年	各2			
天文学 A / 天文学 B	1~4年	各2			
科学史 A / 科学史 B	1~4年	各2	2単位		
諸外国語 2 I / 諸外国語 2 II	1年	各1	8単位 ※選択したパターンを同時に満たしてください。	44単位以上	
日本語 1 I / 日本語 1 II (留学生のみ)	1年	各1			
日本語 2 I / 日本語 2 II (留学生のみ)	1年	各1			
情報処理演習 II (定員: 50)	1・2年	2	選択		
文学と社会 LE / 文学と社会 LF	1~4年	各2	2単位以上	6単位以上	
音声学 L (定員制)	1~4年	2			
哲学 I I / 哲学 I II	1~4年	各2			
倫理学 I I / 倫理学 I II	1~4年	各2			
論理学 I I / 論理学 I II	1~4年	各2			
東洋史 I I / 東洋史 I II	1~4年	各2			
西洋史 LA / 西洋史 LB	1~4年	各2			
日本史 I I / 日本史 I II	1~4年	各2	2単位以上		
宗教論 I I / 宗教論 I II	1~4年	各2			
社会学 LA / 社会学 LB	2~4年	各2	2単位以上		
社会学 LC / 社会学 LD	1~4年	各2			
文化人類学 L	1~4年	2	2単位以上		
社会思想 LA / 社会思想 LB	1~4年	各2			
教養生物学 LC / 教養生物学 LD	1~4年	各2	2単位以上		
教養生物学 LE / 教養生物学 LF	1~4年	各2			
教養化学 LA / 教養化学 LB	1~4年	各2			
中国の文化と社会 LA、中国の文化と社会 LC / 中国の文化と社会 LB、中国の文化と社会 LD (定員: 60)	2~4年	各2	選択		
中国語の世界 LA / 中国語の世界 LB (定員: 60)	1~4年	各2			
スペイン語の世界 LA / スペイン語の世界 LB (定員: 40)	1~4年	各2			
朝鮮の文化と社会 LA / 朝鮮の文化と社会 LB (定員: 30)	2~4年	各2			
日本の文化と社会 LA / 日本の文化と社会 LB (定員: 30)	2~4年	各2			
日本語の世界 LA / 日本語の世界 LB (定員: 30)	2~4年	各2			
日本語 3 I / 日本語 3 II (留学生のみ)	2年	各1	4単位以上 ※選択したパターンを同時に満たしてください。		
日本語 4 I / 日本語 4 II (留学生のみ)	2年	各1			

(注1) 開講期は時間割または Web シラバスを参照してください。
 (注2) 2017年度をもって、「キャリアデザイン 演習」、「就業基礎力養成 I / II」は開講しました。
 (注3) 2017年度以前に「就業基礎力養成 I」を修得済みの場合は、「キャリアデザイン 応用」を履修できません。
 (注4) 2019年度より「法政学への招待」は、「大学を知らう <法政学>への招待」へ科目名称が変更となりました。
 (注5) 2018年度以前に「法政学への招待」を修得済みの場合は、「大学を知らう <法政学>への招待」を履修できません。
 (注6) 2018年度以前に「法政学への招待」を修得済みの場合は、「大学を知らう <法政学>への招待」を履修できません。
 (注7) 経済学 I / II (基礎科目): 経営学部生は履修することができません。

(注5) 朝鮮語は、朝鮮語 3A I / 朝鮮語 3A II、朝鮮語 3B I / 朝鮮語 3B II、朝鮮語 3C I / 朝鮮語 3C II から履修します。詳細は P. 学部 - (24) ~ (25) を参照してください。
 (注6) 朝鮮語は、朝鮮語 4A I / 朝鮮語 4A II、朝鮮語 4B I / 朝鮮語 4B II から履修します。詳細は P. 学部 - (24)、(25) を参照してください。
 (注7) ILAC 科目 4 群の卒業所要単位を修得済の方で他の諸外国語を履修したい方は、経営学部窓口にご相談してください。
 なお、卒業所要単位を修得していない場合は、入学時に選択した諸外国語以外は履修できません。

履修登録の前に

≪外国語科目一覧（必修科目除く）≫

	必修選択	科目	単位	定員	履修年次	備考
英語	選択	入門英語(SS1) I/II	各1	48	1~4	SSI 生のみ履修可
		英語オーラル・コミュニケーション I/II	各1	24	1~4	
		ビジネス・イングリッシュ I/II	各1	24	1~4	
		English Reading and Vocabulary I/II	各1	-	1~4	
		English Academic Writing I/II	各1	20	1~4	
		英語で学ぶ社会と文化 I/II	各1	36	1~4	
		English Presentation I/II	各1	-	1~4	
		英語アカデミック・リーディング I/II	各1	36	1~4	
		英語検定試験対策 I/II	各1	36	1~4	
ドイツ語	選択必修*	ドイツ語表現法 I/II	各1	20	2~4	パターン B のみ履修可
	選択	入門ドイツ語(SS1) I/II	各1	30	1~4	SSI 生のみ履修可
		検定ドイツ語 I/II	各1	30	2~4	
		ドイツ語コミュニケーション I/II	各1	20	2~4	
		ドイツ語視聴覚 I/II	各1	30	2~4	
		時事ドイツ語 I/II	各1	30	2~4	
フランス語	選択必修*	フランス語 5 I/II	各1	-	2	パターン B のみ履修可
		フランス語視聴覚(入門) I/II	各1	30	2~4	パターン B のみ履修可
		フランス語視聴覚(初・中級) I/II	各1	30	2~4	パターン B のみ履修可
	選択	フランス語コミュニケーション(初級) I/II	各1	30	1~4	
		時事フランス語 I/II	各1	30	1~4	
		検定フランス語(初級) I/II	各1	30	1~4	
		情報フランス語 I/II	各1	30	1~4	
ロシア語	選択	ロシア語 5 I/II	各1	-	2~4	
中国語	選択必修*	中国語視聴覚初級 I/II	各1	35	2~4	パターン B のみ履修可
		中国語作文初級 I/II	各1	15	2~4	パターン B のみ履修可
	選択	中国語コミュニケーション基礎 I/II	各1	20	1~4	
		中国語コミュニケーション初級 I/II	各1	20	2~4	
		資格中国語初級 I/II	各1	40	2~4	
スペイン語	選択必修*	時事スペイン語 I/II	各1	30	2~4	パターン B のみ履修可
	選択	スペイン語コミュニケーション I/II	各1	30	3~4	
朝鮮語	選択	朝鮮語 5A(購読) I/II	各1	30	3~4	
		朝鮮語 5B(表現法) I/II	各1	30	3~4	

(注1) 「選択必修*」・・・パターン B の学生について、選択必修の必要単位(2単位)を修得以降は、選択科目としての履修になります。履修の際は、P.学部一(24)も参照してください。

科目一覧と卒業所要単位(専門教育科目・連環科目編)

区分・系列	科目名	履修年次	単位
専門入門科目	組織論入門	1年次～	2
	マーケティング入門	1年次～	2
	経済学入門	1年次～	2
	簿記入門Ⅰ/簿記入門Ⅱ	各1年次～	各2
	会計学入門Ⅰ/会計学入門Ⅱ	各2年次～	各2
経営学科専門科目	経営管理論Ⅰ/経営管理論Ⅱ	各2年次～(経営学科のみ) 各3年次～	各2
	検定会計Ⅰ/検定会計Ⅱ	各2年次～(経営学科のみ) 各3年次～	各2
	キャリア・マネジメントⅠ	2年次～(経営学科のみ) 3年次～	2
	経営組織論Ⅰ/経営組織論Ⅱ	各3年次～	各2
	経営情報論Ⅰ/経営情報論Ⅱ	各3年次～	各2
	国際人事論Ⅰ/国際人事論Ⅱ	各3年次～	各2
	財務会計論Ⅰ/財務会計論Ⅱ	各3年次～	各2
	税務会計論Ⅰ/税務会計論Ⅱ	各3年次～	各2
	原価計算論Ⅰ/原価計算論Ⅱ	各3年次～	各2
	組織経済学	3年次～	2
経営戦略学科専門科目	経営戦略論Ⅰ/経営戦略論Ⅱ	各2年次～(経営戦略学科のみ) 各3年次～	各2
	国際経済論Ⅰ/国際経済論Ⅱ	各2年次～(経営戦略学科のみ) 各3年次～	各2
	日本経済論Ⅰ/日本経済論Ⅱ	各2年次～(経営戦略学科のみ) 各3年次～	各2
	中小企業論Ⅰ	2年次～(経営戦略学科のみ) 3年次～	2
	国際金融論Ⅰ/国際金融論Ⅱ	各3年次～	各2
	日本経営史Ⅰ/日本経営史Ⅱ	各3年次～	各2
	経営分析論Ⅰ/経営分析論Ⅱ	各3年次～	各2
	システム管理論Ⅰ/システム管理論Ⅱ	各3年次～	各2
	マーケティング・マネジメント論Ⅰ/マーケティング・マネジメント論Ⅱ	各2年次～(市場経営学科のみ) 各3年次～	各2
	マーケティング・リサーチ論Ⅰ/マーケティング・リサーチ論Ⅱ	各2年次～(市場経営学科のみ) 各3年次～	各2
市場経営学科専門科目	流通論Ⅰ/流通論Ⅱ	各2年次～(市場経営学科のみ) 各3年次～	各2
	日本経営論Ⅰ/日本経営論Ⅱ	各2年次～(市場経営学科のみ) 各3年次～	各2
	コーポレートファイナンス入門Ⅰ/コーポレートファイナンス入門Ⅱ	各2年次～(市場経営学科のみ) 各3年次～	各2
	投資入門	2年次～(市場経営学科のみ) 3年次～	2
	産業組織論Ⅰ/産業組織論Ⅱ	各3年次～	各2
	技術管理論Ⅰ/技術管理論Ⅱ	各3年次～	各2
	広告論	3年次～	2
	入門外国語経営学	1年次～	2
	ビジネス英語Ⅰ/ビジネス英語Ⅱ	各2年次～	各2
	経営学部設置科目	Global Business Program 専門分野の大部分	
グローバル・ビジネス/GBP 科目	グローバル・オープン科目 グローバル教育センター設置科目	時間割・Web シラバスを参照 ERP・ESOP・短期語学研修等。詳細は市ヶ谷共通項目を参照	
特殊講義	時事問題に対応したテーマ(専門分野)の講義		
演習	入門演習	1年次のみ	2
	演習1/演習2	各2年次	
	演習3/演習4	各3年次	
	演習5/演習6	各4年次	
	演習7/演習8	各5年次	
情報関係科目(注3)	プログラミング言語Ⅰ/プログラミング言語Ⅱ	各1年次～	各2
	情報学発展Ⅰ/情報学発展Ⅱ	各2年次～	各2
経営学部設置科目	インターンシップⅠ/インターンシップⅡ	各2年次～	各2
	民法(通年科目)	2年次～	4
連環科目	会社法(通年科目)	2年次～	4
	Web シラバスを参照		
総合科目	Web シラバスを参照		
公開科目	Web シラバスを参照		

※1 GBP 科目の授業は、全て英語を用いて行われます。授業に必要な英語力を有することが履修条件であり、担当教員の選考により履修者を選抜します。履修希望者は必ず初回授業に参加し、受講許可を得てから履修登録を行ってください。各科目の詳細は、Web シラバスを参照願います。

科目名	履修年次	単位	単位規程(右記の注1、注2参照)		
			経営学科	経営戦略学科	市場経営学科
戦略論入門	1年次～	2	14単位以上		
ファイナンス入門	1年次～	2			
統計学入門	1年次～	2			
情報学入門Ⅰ/情報学入門Ⅱ(注3)	各1年次～	各2			
基礎統計学Ⅰ/基礎統計学Ⅱ	各2年次～	各2			
情報学基礎	2年次～	2			
経営社会学Ⅰ/経営社会学Ⅱ	各2年次～(経営学科のみ) 各3年次～	各2			
組織行動論Ⅰ	2年次～(経営学科のみ) 3年次～	2			
組織マネジメント論Ⅰ/組織マネジメント論Ⅱ	各3年次～	各2			
人的資源管理Ⅰ/人的資源管理Ⅱ	各3年次～	各2			
人材育成論Ⅰ/人材育成論Ⅱ	各3年次～	各2			
監査論Ⅰ/監査論Ⅱ	各3年次～	各2			
管理会計論Ⅰ/管理会計論Ⅱ	各3年次～	各2			
国際会計論Ⅰ/国際会計論Ⅱ	各3年次～	各2			
組織行動論Ⅱ	3年次～	2			
国際経営論Ⅰ/国際経営論Ⅱ	各2年次～(経営戦略学科のみ) 各3年次～	各2	16単位以上	選択	選択
戦略的意思決定論Ⅰ/戦略的意思決定論Ⅱ	各2年次～(経営戦略学科のみ) 各3年次～	各2			
産業史Ⅰ/産業史Ⅱ	各2年次～(経営戦略学科のみ) 各3年次～	各2			
オペレーションズ・マネジメント	2年次～(経営戦略学科のみ) 3年次～	2			
グローバル経営戦略論Ⅰ/グローバル経営戦略論Ⅱ	各3年次～	各2			
企業評価論Ⅰ/企業評価論Ⅱ	各3年次～	各2			
経営のための統計学Ⅰ/経営のための統計学Ⅱ	各3年次～	各2			
中小企業論Ⅱ	3年次～	2			
金融論Ⅰ/金融論Ⅱ	各2年次～(市場経営学科のみ) 各3年次～	各2			
消費者行動論Ⅰ/消費者行動論Ⅱ	各2年次～(市場経営学科のみ) 各3年次～	各2			
サービス・マネジメント論Ⅰ/サービス・マネジメント論Ⅱ	各2年次～(市場経営学科のみ) 各3年次～	各2			
製品開発論Ⅰ/製品開発論Ⅱ	各2年次～(市場経営学科のみ) 各3年次～	各2			
デリバティブ入門Ⅰ/デリバティブ入門Ⅱ	各2年次～(市場経営学科のみ) 各3年次～	各2			
ポートフォリオ理論入門	2年次～(市場経営学科のみ) 3年次～	2			
情報技術論Ⅰ/情報技術論Ⅱ	各3年次～	各2			
Excelで学ぶファイナンス理論Ⅰ/Excelで学ぶファイナンス理論Ⅱ	各3年次～	各2			
経営のための経済学	3年次～	2			
国際コミュニケーションⅠ/国際コミュニケーションⅡ	各2年次～	各2			
SA認定科目	P.学部一(40)参照		2単位以上 (ただし、最高30単位まで)		
演習の単位数と履修については、P.学部一(29)参照			選択		
情報学応用Ⅰ/情報学応用Ⅱ	各2年次～	各2	4単位以上 (ただし、最高20単位まで)		
応用プログラミングⅠ/応用プログラミングⅡ	各3年次～	各2			
労働法(通年科目)	2年次～	4			
I「労働法」は隔年開講ですので計画的に履修してください。					

※年度により、休講となる科目も含まれています。2019年度の開講状況は下記 URL より確認してください。

https://hoppii.hosei.ac.jp



(注1) 3年次終了までに卒業所要単位を修得していても、4年次に8単位以上を修得しなければ卒業することはできません(早期卒業は除く)。
 (注2) 情報学入門ⅠⅡと情報関係科目については、P.学部一(28)～(29)を参照してください。
 (注3) 「成績優秀者の他学部科目履修制度」については、P.学部一(59)を参照してください。

履修登録の前に

総合科目一覧

※定員のある科目は必ず春学期1回目の授業に出席して受講許可を得てください。

科目名	単位	学年	定員	備考
人文科学系				
漢字・漢文学A/B	各2	2～4年	30	日本文学科除く
文芸創作講座A/B	各2	2～4年	定員制	日本文学科除く
日本芸能論A/B	各2	2～4年	40	日本文学科除く
身体表現論A/B	各2	2～4年	30	
美術論A/B	各2	2～4年	30	
芸術と人間A/B	各2	2～4年	50	
仏教思想論A/B	各2	2～4年	—	哲学科除く
行為の理論A/B	各2	2～4年	—	哲学科除く
中国の民族と文化A/B	各2	2～4年	30	史学科除く
ギリシヤの文化と社会A/B	各2	2～4年	30	英文学科・史学科除く 2020年度休講
古代日本・中国の法と社会A/B	各2	2～4年	30	史学科除く
アジア・太平洋島嶼国際関係史A/B	各2	2～4年	30	
クエア・スタディーズA/B	各2	2～4年	—	
キリスト教思想史A/B	各2	2～4年	30	哲学科・英文学科除く
異文化コミュニケーション論A/B	各2	2～4年	30	英文学科除く
社会科学系				
法哲学A/B	各2	2～4年	25	政治学科・哲学科除く
福祉社会論A/B	各2	2～4年	30	政治学科除く 2020年度「福祉社会論A」は休講
人文地理学セミナーA/B	各2	2～4年	30	政治学科・地理学科除く
文化人類学方法論A/B	各2	2～4年	30	政治学科・地理学科除く
人間行動学A/B	各2	2～4年	30	
沖縄を考えるA/B	各2	2～4年	—	
グローバル社会の地域研究A/B	各2	2～4年	定員制	2019年度で閉講
自然科学系				
自然環境のしくみとその変貌A/B	各2	2～4年	40	地理学科除く
数理論理学A/B	各2	2～4年	30	哲学科・英文学科除く 2020年度休講
計算と言語のしくみ	2	2～4年	30	英文学科除く
コンピュータと数理の活用	2	2～4年	30	英文学科除く
確率の世界A/B	各2	2～4年	—	英文学科除く
集合論A/B	各2	2～4年	30	哲学科・英文学科除く
相対性理論と宇宙A/B	各2	2～4年	—	
現代の錬金術A/B	各2	2～4年	—	
原子核と素粒子A/B	各2	2～4年	—	
ボルボックス生物論A/B	各2	2～4年	60	2020年度新規開講
生物哲学	2	2～4年	40	2019年度で閉講
生命情報科学	2	2～4年	40	2019年度で閉講
イオンの科学A/B	各2	2～4年	30	
光と色の科学A/B	各2	2～4年	30	
物質の科学A/B	各2	2～4年	30	
ITリテラシー	2	2～4年	35	
コンピュータ科学	2	2～4年	35	
現代科学の新しい目A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
エネルギーを考えるA/B	各2	2～4年	60	2019年度で閉講
人間と地球環境	2	2～4年	30	地理学科除く
Human Impact on the Global Environment	2	2～4年	30	

科目名	単位	学年	定員	備考
言語系				
第三外国語としてのドイツ語A/B	各2	2～4年	40	哲学科除く 4群ドイツ語履修者は履修不可
ドイツ語コミュニケーション中級A/B	各2	2～4年	20	
留学ドイツ語A/B	各2	2～4年	30	
ドイツの思想A/B	各2	2～4年	30	哲学科・英文学科除く
ドイツ語圏の文学A/B	各2	2～4年	30	英文学科除く
ドイツ語圏の芸術A/B	各2	2～4年	30	英文学科除く
比較文化A/B	各2	2～4年	30	哲学科除く
第三外国語としてのフランス語A/B	各2	2～4年	40	哲学科除く 4群フランス語履修者は履修不可
上級フランス語A/B	各2	2～4年	40	2020年度休講
フランス語コミュニケーション(中・上級)A/B	各2	2～4年	20	
検定フランス語(中・上級)A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
フランス語表現法A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
フランス語講読A/B	各2	2～4年	30	
第三外国語としてのロシア語A/B	各2	2～4年	30	4群ロシア語履修者は履修不可
第三外国語としてのロシア語中級A/B	各2	2～4年	30	
実用ロシア語A/B	各2	2～4年	20	
ロシア語講読A/B	各2	2～4年	30	
時事ロシア語A/B	各2	2～4年	30	
第三外国語としての中国語A/B	各2	2～4年	40	4群中国語履修者は履修不可
第三外国語としての中国語中級A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
中国語視聴覚中級A/B	各2	2～4年	25	2020年度休講
中国語コミュニケーション中級A/B	各2	2～4年	30	
中国語講読A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
中国語講読中級A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
中国語作文中級A/B	各2	2～4年	30	2020年度休講
資格中国語中級A/B	各2	2～4年	30	
資格中国語上級A/B	各2	2～4年	30	
中国語翻訳・通訳A/B	各2	2～4年	30	
中国語翻訳・通訳C/D	各2	2～4年	30	
第三外国語としてのスペイン語A/B	各2	2～4年	40	4群スペイン語履修者は履修不可
第三外国語としてのスペイン語中級A/B	各2	2～4年	40	2020年度休講
スペイン語上級A/B	各2	2～4年	40	
スペイン語コミュニケーション中級A/B	各2	2～4年	30	
スペイン語講読A/B	各2	2～4年	30	2019年度新規科目
第三外国語としての朝鮮語A/B	各2	2～4年	30	4群朝鮮語履修者は履修不可
第三外国語としての朝鮮語中級	2	2～4年	30	4群朝鮮語履修者は履修不可
日本語コミュニケーションA/B	各2	2～4年	30	
健康・スポーツ科学系				
スポーツ科学A/B	各2	2～4年	20～30	それぞれ6単位まで単位修得可。ただし、年度内の重複履修不可、同じ種目の連続履修不可。
系共通				
教養ゼミ I / II (文芸創作の実践A/B)	各2	2～4年	30	日本文学科除く 2020年度休講
教養ゼミ I / II (思想と文学)	各2	2～4年	20	2019年度新規科目
教養ゼミ I / II (愛の労働ー「ケアの倫理」の行方(1)/「共存」の倫理ー「ケアの」倫理の行方(2))	各2	2～4年	30	
教養ゼミ I / II (在日朝鮮人の歴史A/B)	各2	2～4年	30	
教養ゼミ I / II (アラビア語入門)	各2	2～4年	30	
教養ゼミ I / II (アフロアジア入門ー映像で見るアフロアジア世界ー)	各2	2～4年	30	
教養ゼミ I / II (USAにおける抵抗の思想/宗教、ナショナリズム、国家)	各2	2～4年	25	
教養ゼミ I / II (ゼロ金利と米中新冷戦/グローバリゼーションと資本主義の課題)	各2	2～4年	20	政治学科除く
教養ゼミ I / II (政治思想史古典精読：アメリカの独立を考える/政治思想史古典精読：ジェファソンの憲法思想を考える)	各2	2～4年	20	政治学科除く 2019年度新規科目
教養ゼミ I / II (心理的ウェルビーイングを考えるA/B)	各2	2～4年	30	2020年度休講
教養ゼミ I / II (現代社会の人権問題A/B)	各2	2～4年	30	2020年度新規開講
教養ゼミ I / II (自然史ー沖縄本島北部ヤンバル地域の自然と文化ー)	各2	2～4年	20	
教養ゼミ I / II (生き物研究会)	各2	2～4年	30	
教養ゼミ I / II (持続可能社会のための化学)	各2	2～4年	30	2020年度新規開講
教養ゼミ I / II (Issues in Modern Japanese Society I / II)	各2	2～4年	20	2020年度休講
教養ゼミ I / II (独仏文化論)	各2	2～4年	30	英文学科除く
教養ゼミ I / II (移民社会とポピュリズム)	各2	2～4年	15	
教養ゼミ I / II (フランス語圏文化への招待/フランスの現代社会)	各2	2～4年	15	
教養ゼミ I / II (中国の食文化)	各2	2～4年	15	
教養ゼミ I / II (スペインの歴史)	各2	2～4年	20	
教養ゼミ I / II (トレーニングを科学する(Basic course)/(Advanced course))	各2	2～4年	20	
教養ゼミ I / II (脱運動不足と健康づくり (ベーシックコース) / (アドバンスコース))	各2	2～4年	20	
教養ゼミ I / II (身体活動による心身の変化と健康(1)/(2))	各2	2～4年	20	

※備考に〇〇学科除くとする場合には、〇〇学科の学生は、該当の総合科目を、専門科目として履修します(総合科目としては履修しません)。

※「教養ゼミ I / II」は、授業ごとにテーマを設けて、ゼミナール形式で授業を行います。()内はサブタイトルで、授業内容を示します。

※2018年度をもって政治思想A/Bは閉講しました。

**2020年度開講市ヶ谷リベラルアーツセンター主催 グローバル・オープン科目
単位修得時の認定先について
※対象学部：法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン学部**

**2020年度に開講される下記のグローバル・オープン科目は、上記の学部に関し、
ILAC科目(2017年度以降入学生)/市ヶ谷基礎科目(2016年度以前入学生)として認定されます。**

開講学期	科目名		<2017年度以降入学生> 認定先のILAC科目の区分・系列	<2016年度以前入学生> 認定先の市ヶ谷基礎科目の区分・系列
秋	Elementary Information Technology	⇒	100番台・0群選択基盤科目	基礎科目0群(選択)
秋	Elementary Career Development			
春	Humanities B	⇒	200番台・1群リベラルアーツ科目	基礎科目1群
秋	Humanities A			
春	Elementary Social Science A	⇒	100番台・2群基盤科目	基礎科目2群
秋	Elementary Social Science B			
秋	Elementary Humanities A	⇒	100番台・1群基盤科目	基礎科目1群
秋	Elementary Humanities B			
春	Social Science B	⇒	200番台・2群リベラルアーツ科目	基礎科目2群
秋	Social Science A			
春	Natural Science B	⇒	200番台・3群リベラルアーツ科目	基礎科目3群
春	Health and Physical Education	⇒	200番台・5群リベラルアーツ科目	基礎科目5群(選択)
春	Information Technology	⇒	200番台・0群リベラルアーツ科目	基礎科目0群(選択)
春	Career Development Skills			
秋	Elementary Health and Physical Education	⇒	100番台・5群基盤科目(選択)	基礎科目5群(選択)
春	English Academic Writing I ※	⇒	200番台選択外国語科目	基礎科目4群(選択)
秋	English Academic Writing II ※			
春	English Presentation I ※			
秋	English Presentation II ※			
春	English Reading and Vocabulary I			
秋	English Reading and Vocabulary II			
秋	Intercultural Communication A	⇒	200番台・4群リベラルアーツ科目	基礎科目4群(選択)
秋	Intercultural Communication B			
秋	Intercultural Communication C			
春	Intercultural Communication D			
			2017年度以前に左記科目を履修した際は「200番台選択外国語科目」として認定されましたが、2018年度以降は「200番台・4群リベラルアーツ科目」として認定されます。	
春	Intercultural Communication F	⇒	200番台選択外国語科目	基礎科目4群(選択)
春	Intercultural Communication H			
秋	Intercultural Communication E			
秋	Intercultural Communication G			
秋	Natural Science A (Human Impact on the Global Environment と同一授業)	⇒	300番台総合科目(履修年次2~4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定	総合科目(履修年次2~4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定
春	Liberal Arts Seminar I	⇒	300番台総合科目(履修年次2~4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定	総合科目(履修年次2~4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定
秋	Liberal Arts Seminar II			

※<2016年度以前入学生の方へ>「English Academic Writing I/II」は4群選択科目「英語アカデミック・ライティングI/II」と同じ科目です。法・文・経営・国際文化学部の方は、4群選択科目として履修してください。
※<2016年度以前入学生の方へ>「English Presentation I/II」は4群選択科目「映画で学ぶ英語I/II」と同じ科目です。法・文・経営・国際文化学部の方は、4群選択科目として履修してください。

履修上の注意

※科目名については P.学部－(10)～および Web シラバスを参照してください。

1. ILAC (アイラック) 科目 0 群～3 群

★0 群★

- a.「キャリアデザイン入門」は、1 年次のみ履修可能です。
- b.「キャリアデザイン応用」は、2017 年度までに「就業基礎力養成 I」の単位を修得した方は履修できません。

	2017 年度までに <u>就業基礎力養成 I</u> の 単位を修得済み	2017 年度までに <u>就業基礎力養成 II</u> の 単位を修得済み	2017 年度までに <u>キャリアデザイン演習</u> の 単位を修得済み
キャリアデザイン応用	×履修できません	○履修できます	○履修できます

- c.「大学を知ろう <法政学>への招待」は、2018 年度までに「法政学への招待」の単位を修得した方は履修できません。
- d.「基礎ゼミ I / II」: 受講学部・学科を優先するものがあるので、時間割やシラバスに注意してください。
- e.「情報処理演習 I / II」: コンピュータを使用する実習を伴う授業のため、事前に登録(定員超過の場合抽選)が必要です。詳細は法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板等で発表するので必ず確認してください。なお、I / II は連続履修する必要があり、事前登録後の履修登録取り消しは、原則認められていません。

★1 群～3 群★

- a. 1 年次生が ILAC 科目 1 群～3 群の科目を履修する場合は、学部・学科・クラス等の指定があります。2～4 年次生が履修する場合は学部・学科・クラスの指定はありません。ILAC 科目時間割を確認し、選択してください。
- b.「教養数学 A・B」は 2 年次生以上が履修可能です。「基礎数学 I・II」は 1 年次生以上が履修可能です。
- c.「サイエンス・ラボ A」と「サイエンス・ラボ B」は実験授業のため定員制です。そのため、履修登録前に仮登録が必要です。仮登録の詳細については、法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板等を参照してください。

2020 年度から

【注意：履修登録期間の前に実施】

ILAC 科目大人数授業の抽選実施について

本学では教育の質向上、学修環境の整備をはかり、単位制度の実質化を推進しています。学生の皆さんに適正な授業環境を提供することは、本学教育上の使命を果たす上での大前提とも言えます。

そこで、今年度(2020 年度)より、以下の授業(昨年度の履修登録者数を基に選定)について、抽選制を導入します。対象授業の履修を希望する場合には、抽選ガイド(※)をよく読み、手続きを行ってください。

抽選申し込み期間・方法・抽選結果発表について

詳細は、抽選ガイド（※）を確認してください。

（※）抽選ガイドは、法政ポータルサイト Hoppii からアクセスできる Web 掲示板に掲載します。

Hoppii URL : <https://hoppii.hosei.ac.jp>

QR コード :



抽選のルール及び抽選対象授業について

抽選ルールは以下のとおりです。

- ・春学期・秋学期セット（例：以下の表の項番 1）で当選とする。
- ・抽選後、定員に満たなかった場合にも、追加受け入れはしない。
- ・原則、当選した場合は春学期・秋学期授業ともに履修することとするが、やむを得ず履修を取りやめたい場合には、各学部の履修登録期間中に履修登録を削除すること。その場合、削除した科目（単位）分の履修追加が可能である（ただし、各学部の履修上限の範囲内）。※留学期間中の履修登録の対応については、学部の指導に従ってください。

抽選に申し込む際には、落選する可能性があることを十分考慮して、履修計画を立ててください。

抽選対象授業は以下のとおりです。16年度以前入学の学生は、ILAC/市ヶ谷基礎科目新旧対応表と照らし合わせ、科目名を確認してください。

項番	科目分類 (※1)	優先順位 (※2)	科目名	曜日時限	教員名	履修対象	抽選定員 (※3)
1	1群 基盤	B	外国文学A/B	水曜3時限	梁 禮先	法文営国環キ1~4年	308名
2	1群 基盤	A	東洋史I/II	月曜5時限	齋藤 勝	法1年A~N、国キ1年、 法文営国環キ2~4年	502名
3	1群 リベラル	B	日本文学と文化 LG/LH	火曜3時限	榎本 正樹	法文営国環キ1~4年	355名
4	1群 リベラル	B	日本文学と文化 LG/LH	火曜4時限	榎本 正樹	法文営国環キ1~4年	466名
5	2群 基盤	A	社会思想I/II	月曜3時限	熊沢 敏之	環1年、 法文営国環キ2~4年	400名
6	2群 リベラル	B	心理学LA/LB	水曜5時限	海部 紀行	法文営国環キ1~4年	400名
7	2群 リベラル	B	心理学LA/LB	木曜5時限	海部 紀行	法文営国環キ1~4年	466名
8	3群 リベラル	B	教養化学LA (※春学期のみ)	水曜4時限	向井 知大	法文営国環キ1~4年	400名

(※1) 科目分類について 基盤：基盤科目、リベラル：リベラルアート科目を示します。

(※2) 優先順位について A：1年次生が優先です。 B：2~4年次生が優先です。

(※3) 抽選定員は教室定員と連動しているため、今後、変更となる可能性もあります。

2. 外国語の履修 (ILAC科目4群)

留級した学生および進級した学生が未修得の科目を再履修する場合は、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板の案内を確認してください。

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



外国語については、次のいずれかの方法で単位を修得します。なお、入学時に選択した諸外国語は、途中から他の外国語に変更することはできません。

外国語の履修は、以下のパターンAとパターンBの2種類あります。どちらのパターンでの履修を希望するか、1年次の秋学期に希望登録を行います。パターンA、Bともに、1年次の履修科目に違いはありません。希望登録についての詳細は、P.学部一(26)を必ず確認してください。

		パターンA	パターンB
1年次春学期	英語	2単位	
	諸外国語	2単位	
1年次秋学期	英語	2単位	
	諸外国語	2単位	
2年次春学期	英語	1単位	—
	諸外国語	1単位	2単位
2年次秋学期	英語	1単位	—
	諸外国語	1単位	2単位
合計		12単位	12単位

※留学生入試で入学した留学生は以下のパターンで履修します。

留学生非英語圏パターン

留学生英語圏パターン

	1年	2年	合計	1年	2年	合計
日本語	4単位	4単位	8単位	4単位	4単位	8単位
英語	4単位	0単位	4単位	0単位	0単位	0単位
諸外国語	0単位	0単位	0単位	4単位	0単位	4単位
合計	8単位	4単位	12単位	8単位	4単位	12単位

※英語を母語とする国からの留学生は、「留学生英語圏パターン」で履修。

外国語必修科目の履修について

1年次 パターンにより、履修方法が異なりますので、以下をよく読み履修登録してください。

<パターン A・B 共通>

英語	English1 I / II	クラス指定があります。 4月1日に実施する ELPA 英語プレイスメントテスト α のスコアによりクラス分けを行います。 クラス分けは法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板で発表します。
	English2 I / II	
諸外国語	諸外国語1 I / II	クラス指定があります。 「経営学部ILAC科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	諸外国語2 I / II	

＜留学生非英語圏パターン＞

日本語	日本語1 I / II	クラス指定があります。 「経営学部ILAC科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	日本語2 I / II	
英語	English1 I / II	クラス指定があります。 4月1日に実施する ELPA 英語プレイスメントテストαのスコアによりクラス分けを行います。 クラス分けは法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板で発表します。
	English2 I / II	

＜留学生英語圏パターン＞

日本語	日本語1 I / II	クラス指定があります。 「経営学部ILAC科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	日本語2 I / II	
諸外国語	諸外国語1 I / II	
	諸外国語2 I / II	

2年次

パターンにより、履修方法が異なりますので、以下をよく読み履修登録してください。

＜パターンA＞

英語	English3 I / II	クラス指定があります。 1年次秋学期に実施する希望登録内容(詳細はP.学部一(26))と、1月(予定)に行われる ELPA 英語プレイスメントテストαのスコアによりクラス分けを行います。 クラス分けは法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板で発表します。
諸外国語	<p>諸外国語3 I / II</p> <p>※フランス語選択の学生は、通常クラス「フランス語3 I」、「フランス語3 II」の代わりに、より高度な運用能力を身につける、意欲のある学生向けの重点クラス「<u>フランス語3 I / (インテンシブ)</u>」、「<u>フランス語3 II (インテンシブ)</u>」を履修することができます。</p> <p>※1</p> <p>※朝鮮語選択の学生は、<u>朝鮮語3B I / II</u>(クラス指定あり)または、<u>朝鮮語3C I / II</u>(クラス指定なし)を履修してください。両科目とも履修することもできます。</p> <p>朝鮮語3A I / II (重点)は＜パターンB＞の学生が履修する授業のため、履修できません。</p>	<p>クラス指定があります。</p> <p>「経営学部ILAC科目時間割表」より、<u>自分のクラス名の該当科目</u>を探し履修してください。</p>

※1 通常クラス、重点クラスのいずれを履修しても、成績証明書には「フランス語3 I」または「フランス語3 II」と記載されます。

<パターンB>

英語	必修科目はありません。	選択科目は履修できます。
	<p>諸外国語 3 I / II</p> <p>※フランス語選択の学生は、通常クラス「フランス語 3 I」、「フランス語 3 II」の代わりに、<u>より高度な運用能力を身につける、意欲のある学生向けの重点クラス「フランス語 3 I / (インテンシブ)」、「フランス語 3 II (インテンシブ)」</u>を履修することができます。※1</p> <p>※朝鮮語選択の学生は、<u>朝鮮語 3 A I / II (重点) (クラス指定あり) または、朝鮮語 3 B I / II (クラス指定あり)、または、朝鮮語 3 C I / II (クラス指定なし)</u>を履修してください。※2</p>	<p>クラス指定があります。</p> <p>「経営学部ILAC科目時間割表」より、<u>自分のクラス名の該当科目</u>を探して履修してください。</p>
諸外国語	<p>諸外国語 4 I / II</p> <p>※諸外国語 4 I / IIを履修することが原則ですが、その他の科目でも、諸外国語 4 I / IIの各 1 単位 (計 2 単位) 分とすることができます。</p> <p>(例) <ドイツ語></p> <p>ドイツ語 4 I / II または ドイツ語表現法 I / II を履修する。</p> <p><諸外国語 4 I / II の単位となる科目></p> <p>科目が複数ある言語について、対象科目をすべて履修することも可能です。</p> <p>ドイツ語</p> <p>ドイツ語 4 I / II</p> <p>ドイツ語表現法 I / II</p> <p>フランス語</p> <p>フランス語 4 I / II</p> <p>フランス語 5 I / II</p> <p>フランス語視聴覚(入門) I / II</p> <p>フランス語視聴覚(初・中級) I / II</p> <p>ロシア語</p> <p>ロシア語 4 I / II</p> <p>中国語</p> <p>中国語 4 I / II (定員 30 名) ※3</p> <p>中国語視聴覚初級 I / II</p> <p>中国語作文初級 I / II</p> <p>スペイン語</p> <p>スペイン語 4 I / II</p> <p>時事スペイン語 I / II</p> <p>朝鮮語</p> <p>朝鮮語 4 A I / II (重点)</p> <p>朝鮮語 4 B I / II ※2</p>	<p>「経営学部ILAC科目時間割表」より、該当科目を探して受講してください。</p> <p>★諸外国語 4 I (春学期科目) の単位となる科目は「～ I」(春学期科目)、諸外国語 4 II (秋学期科目) の単位となる科目は「～ II」(秋学期科目) です。</p>

※1 通常クラス、重点クラスのいずれを履修しても、成績証明書には「フランス語 3 I」または「フランス語 3 II」と記載されます。

※2 パターンBの朝鮮語選択の学生は、以下のいずれかの組み合わせで履修してください。

	諸外国語3	+	諸外国語4
★①	朝鮮語3 A I / II (重点)	+	朝鮮語4 A I / II (重点)
②	朝鮮語3 B I / II または 朝鮮語3 C I / II	+	朝鮮語4 B I / II

★①の朝鮮語3 A I / II (重点)・朝鮮語4 A I / II (重点)はリレー方式で授業を行うため、セットで履修すべき曜日時限が設定されています。詳しくは以下の表にて確認してください。上記の組み合わせで履修しない場合には、試験時に不利益が発生する場合があります。注意してください。

★①を選択した学生は、以下の表のa～cのいずれかのセットで履修してください。

	朝鮮語3 A I / II (重点)		+	朝鮮語4 A I / II (重点)	
	曜日時限	担当者名		曜日時限	担当者名
a	月曜 3 時限	梁 禮先	+	木曜 1 時限	内山 政春
b	月曜 5 時限	梁 禮先	+	金曜 5 時限	内山 政春
c	水曜 5 時限	梁 禮先	+	金曜 4 時限	内山 政春

※3 「中国語4 I / II」は授業ごとに学部指定があります。必ず時間割表で確認し、履修してください。

<留学生非英語圏・英語圏パターン共通>

日本語	日本語3 I / II	クラス指定があります。 「経営学部ILAC科目時間割表」より、 <u>経営学部指定の該当科目</u> を探し履修してください。
	日本語4 I / II	
英語	必修科目はありません。 <留学生非英語圏パターン>	選択科目は履修できます。
諸外国語	必修科目はありません。 <留学生英語圏パターン>	選択科目は履修できます。

2年次英語・諸外国語選択希望登録<必須>について

外国語の履修にはパターンAとパターンBの2種類あります。どちらのパターンでの履修を希望するか、1年次の秋学期に希望登録を行います。(注)英語選択の場合には、授業内容のカテゴリー、教員の主な使用言語に関する希望登録を行います。回答に添えない場合もあります。

回答方法・回答期間は、以下をよく確認して、忘れずに回答してください。希望登録<必須>に回答しない場合には、パターンAまたはBどちらで履修するか、自動的に割り振りますので注意してください。

【注意1】回答期間終了後の変更は一切できません。

【注意2】「2017年度以降入学の1年次生」が対象です。留級した学生は、前年度までの回答が全て無効となりますので、今年度も必ず回答してください。

(補足)英語選択の場合には、本希望登録内容と、1月(予定)に行われるELPA英語プレイスメントテストαのスコアによりクラス分けを行います。必ず1月(予定)に行われるELPA英語プレイスメントテストαを受験してください。

回答期間 : 学科ごとに期間が異なります。アクセス集中を避けるため、必ず指定された期間で回答してください。

学部	対象学科	回答期間
経営	経営学科	10月8日(木)~10月10日(土)
	経営戦略学科	10月11日(日)~13日(火)
	市場経営学科	10月14日(水)~16日(金)

回答方法 : 学習支援システムから回答してください。

法政ポータルサイト(Hoppii)内の学習支援システムにログインする。

<https://hoppii.hosei.ac.jp>

【ログイン方法】

法政大学全学ネットワークシステムの統合認証システムの画面が表示されるので、ユーザID、パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックします。※法政大学全学ネットワークシステムの統合認証システムのログインID、パスワードがわからない時は、法政大学総合情報センター(<http://www.hosei.ac.jp/human/index.html>)まで問い合わせてください。

※回答方法の詳細は、追って法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板に掲載します。

留級した学生および進級した学生が未修得の科目を再履修する場合は、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板の案内を確認してください。

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



A. ILAC科目5群(体育科目)の履修

a. 科目名・履修年次・単位

科目名(系列)	履修年次	単位	
(必修科目) スポーツ総合演習	原則として 1年次に履修	2単位	3年次修了までに必ず修得する必要があります。
(選択科目) <2017年度以降入学生> スポーツ総合演習S <2016年度以前入学生> スポーツ総合演習	1~4年次	2単位	必修ではありません。2単位まで履修できます。 修得した単位はILAC科目/基礎科目の単位として卒業所要単位に計上されます。

b. 内容

体育についての演習(講義および実技)

c. 授業形態・実施場所・期間

授業形態	授業期間	種目	場所
通常授業	春学期または秋学期	複数の種目の複合	①市ヶ谷総合体育館 ②富士見坂校舎体育館

d. 保健体育ガイダンス(保健体育時間割の説明・受講授業の決定・仮登録)

対象	内容	日時	場所
2020年度入学生	学部ガイダンスで説明 (日時・場所は入学時配布の「新入生連絡事項」を参照)		
全入学年度 共通	選択科目のガイダンス ★希望者のみ参加する	4月6日(月)9時30分~	富士見ゲート G503

※ガイダンス日時・場所は変更になる場合があります。詳細は法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板にて確認してください。

e. 履修登録(日時等詳細は学部ガイダンスで説明)

①新入生の必修科目

Webの申請画面に事前登録されるので各自でWeb履修登録を完了してください。

②選択科目希望者

ガイダンスに参加して受講希望票を提出し、受講許可を得てから各自でWeb履修登録を完了してください。

f. 健康診断等

大学実施の健康診断を必ず受けてください。

g. 体育会入部者

授業の受講に代えて、体育会(準加盟部は除く)の活動により、5群科目の単位を修得することができます。

体育会活動による単位の修得は体育会での1年間の活動で2単位です。

在学中に体育会活動によって修得できる単位の上限は2単位です。

春学期履修登録期間内(部員本人の所属学部の指示する日)に申請手続きが必要となりますので、経営学部窓口を用意してある所定用紙に記入の上、提出してください。

h. 連絡

体育科目に関わる連絡は、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板、市ヶ谷総合体育館1F掲示板で行います。

i. 心身の状態についての相談

体育の授業を履修するにあたり、心身の状態について心配があり、相談したいという場合は、保健体育センターに問い合わせてください。

※問い合わせ先 保健体育センター市ヶ谷体育課：電話03-3264-9498

B. 専門教育科目・連環科目の履修

■全般的な注意

・科目登録上の注意

専門教育科目は単位規定を充足すればどの科目を履修しても構いませんが、勉学上の観点からは、関連の深い科目群があるので、それらをなるべくセットで履修することが望ましいと言えます。

・春学期（秋学期）に寄せて実施される授業

セメスターの科目「～I/II」であっても、春学期または秋学期に寄せて授業が実施されることがあります。この場合、IとIIが連続する時限で開講されていても、それらは別々の科目となりますので、それぞれの登録番号と科目名を必ず履修登録してください。

・科目の表記について

原則として、「I・II」は通年科目を指します。また、「I/II」は、セメスター制科目を表しています。そのため、後者は「～I」や「～II」と別々に表現されることもあります。

■1年次

※1年次で履修可能な科目は限られています（P. 学部－(14)『科目一覧と卒業所要単位（専門教育科目・連環科目編）』を参照）。履修可能な科目の諸注意を以下にまとめてありますので参照してください。

1. 専門入門科目100番台：クラス指定があります。専門教育科目時間割表から探して履修してください。
2. 専門入門科目100番台の「情報学入門I/II」と情報関係科目の「プログラミング言語I/II」については科目名によって内容が異なります。下表およびWebシラバスを確認してください。

2019年度以降入学者	
※	情報学入門 I / II (表計算)
	情報学入門 I / II (データ演習)
	情報学入門 I / II (データベース)
	情報学入門 I / II (空間情報処理)
	情報学入門 I / II (メディア情報処理)
	情報学入門 I / II (言語データ処理)
※	プログラミング言語 I / II (C 言語)
	プログラミング言語 I / II (JAVA)
	プログラミング言語 I / II (VBA)
	プログラミング言語 I / II (スクリプト言語)

※各科目とも在学中1コースのみ履修可能です。

※これらの科目は受講者数に制限がありますので、科目登録の前に受講申込が必要です。詳細は電算科目時間割裏面で、確認してください。

3. グローバル・ビジネス/GBP科目

- (1) 入門外国語経営学：履修登録の前に手続きが必要な場合があります。手続き方法は経営学部Web掲示板で確認してください（Webシラバスも参照してください）。
 - (2) グローバル・オープン科目の一部が受講できます。Webシラバスや時間割で、配当年次を確認してください。
 - (3) グローバル教育センター設置科目の一部が受講できます。詳細は、市ヶ谷共通項目および、グローバル教育センターホームページを確認してください。
4. 入門演習：履修登録の前に手続きが必要な場合があります。手続き方法は経営学部Web掲示板で確認してください（Webシラバスも参照してください）。
 5. 特殊講義：年度によって開講される科目が異なります。1年次で履修可能な特殊講義は限られていますので、Webシラバスを参照してください。

■2～4年次

※2～4年次で履修可能な科目は、P. 学部一(14)『科目一覧と卒業所要単位（専門教育科目・連環科目編）』で確認してください。履修可能な科目の諸注意を以下にまとめてありますので、参照してください。

《専門教育科目》

1. 専門入門科目100番台：クラス・学年指定がある場合と、無い場合があります。専門教育科目時間割表を必ずよく見てから、該当する科目を履修してください。自分が2年M組だからといって1年M組の授業を履修するわけではありません。必ず2、3、4年が受講できる授業を履修してください。
2. 専門入門科目200番台：2年生はクラス指定があります。専門教育科目時間割表から探して履修してください。3～4年生はクラス・学年指定がある場合と、無い場合があります。専門教育科目時間割表を必ずよく見てから、該当する科目を履修してください。
3. 専門入門科目100番台の「情報学入門Ⅰ/Ⅱ」と情報関係科目の「プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ」・「情報学応用Ⅰ/Ⅱ」・「情報学発展Ⅰ/Ⅱ」・「応用プログラミングⅠ/Ⅱ」については科目名によって内容が異なります。下表をご確認ください。

2019年度入学者	
※	情報学入門Ⅰ/Ⅱ(表計算)
	情報学入門Ⅰ/Ⅱ(データ演習)
	情報学入門Ⅰ/Ⅱ(データベース)
	情報学入門Ⅰ/Ⅱ(空間情報処理)
	情報学入門Ⅰ/Ⅱ(メディア情報処理)
	情報学入門Ⅰ/Ⅱ(言語データ処理)
※	プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(C言語)
	プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(JAVA)
	プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(VBA)
	プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(スクリプト言語)
※	情報学応用Ⅰ/Ⅱ(データベース)
	情報学応用Ⅰ/Ⅱ(データ可視化)
	情報学応用Ⅰ/Ⅱ(プレゼンテーション)
	情報学応用Ⅰ/Ⅱ(空間情報)
※	情報学発展Ⅰ/Ⅱ(ホームページ)
	情報学発展Ⅰ/Ⅱ(情報通信ネットワーク)
	情報学発展Ⅰ/Ⅱ(システム科学)
※	応用プログラミングⅠ/Ⅱ(統計分析)
	応用プログラミングⅠ/Ⅱ(統計)

※各科目とも在学中1コースのみ履修可能です。

※これらの科目は受講者数に制限がありますので、科目登録前に受講申込が必要です。詳細は電算科目時間割裏面で、確認してください。

4. 学科専門科目：自分の所属している学科の学科専門科目の一部は2年次から履修できます。3年次から、他学科を含めた全ての学科専門科目を履修できます。自分の所属している学科の学科専門科目を中心に履修してください。
5. グローバル・ビジネス/GBP科目
 - (1) 入門外国語経営学は定員のある場合があるので、第1回目の授業で確認してください（Webシラバスも参照してください）。
 - (2) ビジネス英語Ⅰ/Ⅱは、定員がある場合もあるので、秋学期から履修する場合でも、春学期第1回目の授業で確認してください（Webシラバスも参照してください）。
 - (3) Global Business Program 専門科目の多くを履修できます。履修可能な科目は、下記URLより『専門教育科目・連環科目配当表』で確認してください。ただし、履修希望者が受講定員を超えた場合は、担当教員の選考により履修者を選抜します。その場合、GBP学生が最優先の受講資格を有します。なお、履修に際しては次の英語能力試験スコアのいずれかを最低限満たしていることが原則となります。
 - ・TOEFL®iBT：61点以上（PBT：500点以上）
 - ・IELTS（Academic Module）：band5.5以上
 - ・TOEIC®：700点以上
 - ・実用英語技能検定：準1級以上



専門教育科目・連環科目配当表（Hoppii より参照）

<http://hoppii.hosei.ac.jp>

- (4) グローバル・オープン科目の多くが受講できます。Webシラバスや時間割で、配当年次を確認してください。
- (5) グローバル教育センター設置科目の多くが受講できます。詳細は、市ヶ谷共通項目および、グローバル教育センターホームページを確認してください。
6. 特殊講義：年度によって開講される科目が異なります。科目によって履修可能年次が異なるので、Webシラバスを参照してください。
7. 演習：2年次から履修できますが、一つの学年（留年した場合も含む）で複数のゼミに登録することはできません。また、学生は所属学科に関わらず、原則としてどの学科のゼミも自由に希望できます。ただし、教員によっては所属学科によって優先順位等をつける場合もあります。なお、ゼミの開講パターンによって単位数が異なります。下表をご確認ください。

学年	1時限の演習		2時限連続の演習	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
2年次	2単位	2単位	3単位	3単位
3年次	2単位	2単位	3単位	3単位
4年次	2単位	2単位	3単位	3単位

※新規開講ゼミは「1時限」、次年度以降は「2時限連続」が原則です。

《連環科目》

1. 法律科目：通年科目です。ただし「労働法」は隔年開講ですので、計画的に履修してください。
2. インターンシップ I：これらの科目は受講者数に制限があります。インターンシップ I の履修を希望する場合は、必ず第1回目の授業に参加し、担当教員の指示に従ってください。
3. 公開科目：公開されている他学部の設置科目を2～4年次に履修することができる制度です。対象科目と講義概要はWebシラバスを参照してください。授業時間割・試験時間割や休講等の諸連絡については、当該学部の時間割・掲示板を参照してください。また、経済学部・社会学部・現代福祉学部の公開科目は、多摩地区での開講となります。履修の際には十分な通学時間を考慮のうえ、履修してください。なお、履修登録は他の専門教育科目と同様に行ってください。また、公開科目とは別に、2～4年次の成績優秀者を対象にした「成績優秀者の他学部科目履修制度」があります。この制度については、学部一(59)ページを参照してください。
4. 総合科目：年度によって開講される科目が異なります。2年次から履修可、または3年次から履修可の科目があるので、Webシラバスを参照して、何年生から履修できるのか確認してください。総合科目については、特にクラスの指定はありません。自由に履修をしてください。

C.GBP 専門教育科目の履修

Taking Business Administration Courses in GBP

GBP(Global Business Program)の専門科目は本来、同プログラムの学生用に開講されていますが、日本語学位課程の経営学部生や交換留学生(ESOP)もその大半の科目を履修できます。

具体的に履修できる科目は次頁の通り、また履修に際しての条件は以下の通りです。

1. 履修に際しての条件

- ・ 学生は授業に必要な英語力を有しているものとします。具体的には、次の英語能力試験スコアのいずれかを最低限満たしていることを原則とします。TOEFL®iBT:61点以上(PBT:500点以上)、IELTS (Academic Module): band 5.5以上、TOEIC®: 700点以上、実用英語技能検定:準1級以上。
- ・ 履修希望者が受講定員(教室サイズや担当教員の判断による)を超えた場合は、担当教員の選考により履修者を選抜します。その場合、GBP 学生は最優先の受講資格を有するものとします。
- ・ 経営学部生(日本語学位課程)がこれらの科目を履修する場合、科目によって「連環科目」または「特殊講義」の扱いとなるので注意して下さい。
- ・ 経営学部生(日本語学位課程)の科目と GBP 学生の科目で、同名科目の重複履修は不可です。重複履修不可となる科目は、以下の通りです。

国際経営論 I/II と International Business I/II

グローバル経営政略論 I/II と Global Business Strategy I/II

人的資源管理論 I/II と Human Resource Management I/II

組織行動論 I/II と Organizational Behavior I/II

Business Administration Courses in GBP are originally intended for GBP students. But students of the Faculty of Business Administration (Japanese-based degree) and foreign exchange students (ESOP: Exchange Students from Overseas Program) can take most of those courses. The specific courses to be taken are shown in the table below, and the conditions are as follows.

Conditions to take Business Administration Courses in GBP

- ・ Students should have enough proficiency in English to take a course. More specifically, they must satisfy one of the following English proficiency test scores in principle. TOEFL® iBT: 61 or higher (PBT: 500 or higher); IELTS (Academic Module): 5.5 or higher; TOEIC®: 700 or higher; or Eiken: quasi 1st grade or higher.
- ・ If the number of students who want to take a course exceeds the quota of a class (which may be depend on the capacity of a classroom or the judgement of an instructor), the instructor can select students who can take the course. In that case, GBP students have the highest priority.
- ・ When students of the Faculty of Business Administration (Japanese-based degree) take courses of GBP, they are classified into either “Renkan-Kamoku (Linkage courses)” or “Tokusyu-Kogi (Special Topic courses).” So please note the table below.
- ・ The four groups of Japanese/English courses below are almost the same so that students can choose either Japanese or English. It is not allowed to take both courses in one group.

1. 国際経営論 I/II and International Business I/II

2. グローバル経営政略論 I/II and Global Business Strategy I/II

3. 人的資源管理論 I/II and Human Resource Management I/II

4. 組織行動論 I/II and Organizational Behavior I/II

GBP専門教育科目の履修 / 開講状況一覧 (2020年度)

履修年次	GBP科目名称	単位配当先科目群			開講予定		
		(2019年度以降入学生)	(2018年度以前入学生)		Spring 2020	Fall 2020	Spring 2021
		専門教育科目	連環科目	専門教育科目			
		グローバル・ビジネス/ GBP科目	グローバル・ オープン科目	特殊講義			
1年次～	<Introductory Courses of Business Administration>						
	Introduction to Organizational Management	■	■		●	●	
	Introduction to Strategic Management	■	■		●		
	Introduction to Accounting	■	■		●		
	Introduction to Finance	■	■		●		
	Introduction to Marketing	■	■		●	●	
	Introduction to Operations Management	■	■		●	●	
	Introduction to Japanese Economy	■	■		●	●	
	Introduction to Statistics	■	■		●	●	
Introduction to Informatics	■	■			●		
Introduction to University Study (GBP生のみ)					○		
<Intermediate/Advanced Courses of Business Administration>							
2年次～	Organizational Management I	■		■			
	Organizational Management II	■		■	●		
	Organizational Behavior I	■		■		●	
	Organizational Behavior II	■		■		●	
	Human Resource Management I	■		■		●	
	Human Resource Management II	■		■	●	●	
	Strategic Management	■		■		●	
	International Business I	■		■			
	International Business II	■		■	●		
	Global Business Strategy I	■		■		●	
	Global Business Strategy II	■		■		●	
	Business Management in Japan	■		■	●	●	
	Intermediate Accounting I	■		■			
	Intermediate Accounting II	■		■	●		
	Management Accounting	■		■			
	Financial Statement Analysis	■		■	●	●	
	Corporate Finance	■		■	●		
	Investments A	■		■			
	Investments B	■		■		●	
	Principles of Marketing	■		■		●	
	Service Management	■		■	●	●	
	Distribution in Japan	■		■		●	
	Operations Management I	■		■		●	
	Operations Management II	■		■	●	●	
Principles of Macroeconomics	■		■	●	●		
Principles of Microeconomics	■		■		●		
Japanese Innovation Management	■		■	●			
Entrepreneurship	■		■	●			
<Special Topics in Management>							
2年次～	Special Topics in Management A	■		■	●	●	
	Special Topics in Management B	■		■	●	●	
	Special Topics in Management C	■		■			
<Global Business Courses>							
2年次～	Workshop I	■		■		●	
	Workshop II	■		■	●	●	
1年次～	Special Topics in Global Business A	■		■		●	
	Special Topics in Global Business B	■		■		●	
	Special Topics in Global Business C	■		■			
	Internship (GBP生のみ)					○	
2年次～	Seminar (GBP生のみ)				○	○	

※上記の開講予定は予告なく変更になることがあります。必ず最新の時間割表を確認してください。

◀GBP専門教育科目の履修について▶

GBP (Global Business Program) の専門科目は本来、同プログラムの学生用に開講されていますが、日本語学位課程の経営学部生や交換留学生 (ESOP) もその大半の科目を履修できます。具体的に履修できる科目は上表の通り、また履修に際しての条件は以下の通りです。

◀履修に際しての条件▶

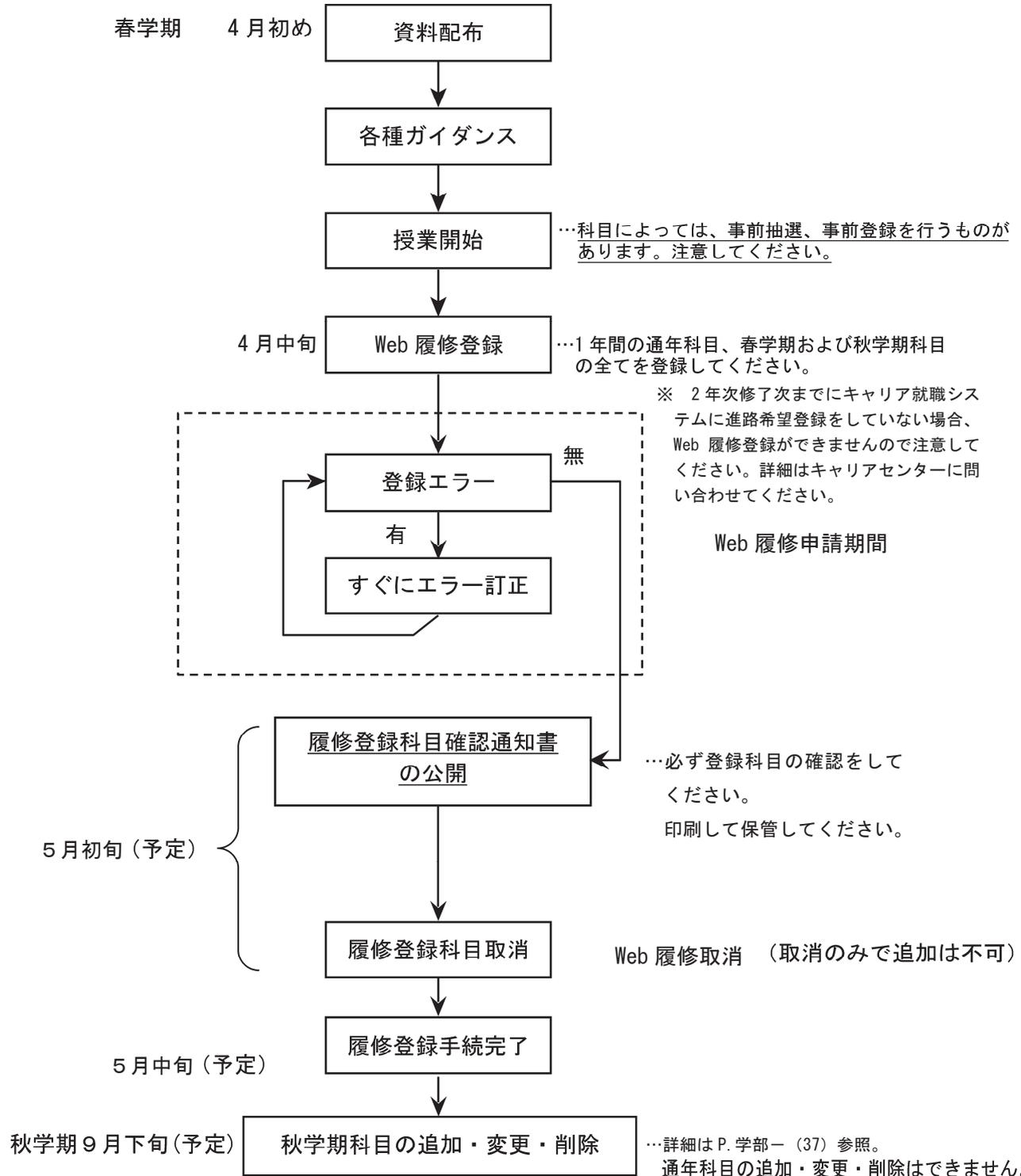
・学生は授業に必要な英語力を有しているものとします。具体的には、次の英語能力試験スコアのいずれかを最低限満たしていることを原則とします。
「TOEFL®iBT : 61点以上 (PBT : 500点以上)」「IELTS (Academic Module) : band 5.5 以上」「TOEIC® : 700点以上」「実用英語技能検定 : 準1級以上」

・履修希望者が受講定員 (教室サイズや担当教員の判断による) を超えた場合は、GBP学生、経営学部生 (日本語学位課程)、ESOP学生、の順に履修が優先されます。その他の英語プログラム (GIS, SCOPE, IGESS) や他学部の日本語学位課程の学生に対しては、担当教員の選考により履修者を選抜することがあります。

履修科目の登録について

1. 履修登録の流れ

「通年科目」、「春学期（または秋学期）科目」の別にかかわらず、1年間に履修する科目は全て春学期の初めに登録します。ただし、秋学期の初めに秋学期科目の「追加」「変更」「削除」を認めます。詳細はP.学部－(37)を参照してください。



※履修科目の登録は、1年間の履修、場合によっては進級や卒業を左右しますので、履修登録にあたっては、入力に不備がないことを再度確認のうえ、自らの責任のもとで行ってください。

※履修登録の方法およびスケジュールについては、4月の配布資料を確認してください。

2. 履修科目の登録

(1) 履修計画と時間割の作成

大学における教育課程が高校までの教育課程と最も異なる点は、学生自身が大学のカリキュラムに則って自主的に自分の時間割を作成し、単位を修得していく（したがってその範囲内で学生本人が責任を負う）ところにあります。

在学年限以内に、卒業所要単位を修得しなければなりません。各年次には履修可能単位制限があり、また進級に関する規程の適用を受けるため、各年次に計画的に時間割を組み、効率的に履修することが必要とされます。

(2) 履修科目の「登録」制度

本学では、各授業期間合わせて約 35 週授業を開講しています。これらの授業科目を履修し、単位を修得するためには、学年初めの指定した期日までに履修科目の Web 登録を完了しなければなりません。学生はこれによって大学に対し、希望する科目の履修意思を明確に表示し、大学はそれを承認します。この制度が「登録」といわれるもので、この「登録」された科目についてのみ、受験資格が認められ、成績評価がなされます。この「登録」は Web で行います。

履修科目の登録を所定の期限までに行わない学生は、当該年度の試験の受験資格が認められず、その結果「進級規程」により留級となるばかりか、除籍の対象ともなるので十分注意してください。

学則第 22 条 学生は、履修しようとする授業科目を毎年所定の期間内に届け出て承認を得なければならない。

学則第 39 条 新入生で指定された期限までに履修届を提出しない等、本大学において修学する意志がないと認められる者は除籍する。

学年初めに行われるこの「登録」は、授業受講による単位修得の前提となるもので、いったん登録された科目を途中で変更することはできません。

訂正が許されるのは、単位修得の放棄（登録科目の取り消し）の場合に限られます。また、秋学期の初めに履修登録科目の追加・変更・削除が認められるケースがあります（P. 学部一（37）参照）。

(3) 科目登録上の注意

a. クラス指定授業

クラス指定のある科目は指定された授業を受講してください。

b. 事前手続き及び別登録

クラス授業以外の外国語、ILAC 科目 5 群、専門教育科目の情報関係科目、交換留学生受け入れプログラムや「サイエンス・ラボ A/B」などのように定員制限のある科目は、事前手続きまたは仮登録を必要とし、許可された者だけが本登録できます。許可を受けていない者は、本登録を行っても無効となります。

- 受講定員のある科目（情報処理演習 I / II を除く）

第 1 回目の授業に出席し、受講の許可を得てください。選抜方法については、教員が指示します。

- 「情報処理演習 I / II」の事前申込（Web 抽選）および登録については新年度の授業開始前、Web 掲示板に抽選方法を発表します。
- 交換留学生受け入れプログラムの事前登録についてはグローバル教育センターに問い合わせてください。

c. クラス編成

クラスは 1~4 年次まで変わらないのが原則ですが、諸般の事情によりクラスが変わることもありますので、毎年度初めに送付する学生証裏面シールで確認してください。

(4) 復学・復籍及び留級生の登録

クラス・学生証番号が変更になる場合がありますので、間違いのないようにしてください。

授業科目の履修は、復学・復籍および留級の当該年次のカリキュラムに基いて履修してください。

「留級者の履修可能単位数」については、P. 学部－(9)を参照してください。

3. 履修科目登録（Web 登録）について

(1) 登録

a. Web 登録画面にアクセスするまでの手順

1. 今年度履修可能な単位数を確認します (P. 学部－(9)を参照してください)。



2. 時間割表から今年度履修しようとする授業科目を、学部・学科・学年・クラスの割り当てに従って選択します。その時P. 学部－(19)～(32)「履修上の注意」を必ず参照してください。



3. 上記 2 で選択した科目に曜日・時限の重複がないか確認し、各科目の単位計算をして履修の基準に合っているかどうか確認します。



4. 上記 3 で作成した時間割を参照しながら、Web 登録画面上の時間割表で科目を選択します。曜日・時限・科目名・教員名・登録番号などに間違いがないかどうか必ず確認してください。

b. 登録科目選択上の一般的注意事項

- 登録科目とは、授業科目・曜日・時限・担当教員までを意味します。従って、同一の授業科目名称であっても、曜日・時限・担当教員のいずれかが登録と違う科目を受講したり、試験を受けても、単位は修得できません。
- 履修科目の登録の有無・正誤は、すべて選択された登録番号で判断しますので、選択を間違えないようにしましょう。
- 同一時限に 2 科目以上の重複登録は認めません。
- 再履修科目の多い学生は、特に計画的に履修するようにしてください。

(2) 登録の完了

登録は、必ず本人が行ってください。登録エラーが出た場合は、訂正をして、エラーが無くなった時に完了となります。

指定した期日までに登録をしない場合、新入生は除籍（学則第 39 条）、2～4 年次生は留級になるので特に注意してください。

病気等やむを得ない理由により、指定期間内に履修登録できない者は、必ず事前に経営学部窓口ご連絡してください。事前の連絡がなく申請期間を過ぎた場合は、受け付けません。

※登録に関して不明点または疑問点がある場合には、自己判断で処理せず、必ず経営学部窓口にご相談して指示を受けてください。

4. 履修登録科目確認通知書（印刷・保管してください）

履修登録科目確認通知書とは、みなさんが登録した科目を集計した帳票であり、みなさんが登録しようとする科目と実際に登録された科目とが一致しているかどうかを確認するために利用します。

登録時に「履修登録科目確認通知書」を印刷し、自分の登録に誤りがないかどうかを確認してください。通知書の確認を怠ったために自分の登録の誤りを見過ごし、結果的に単位を修得できなかった例が毎年発生していますので、十分注意してください。

登録エラーがあるにもかかわらず、それを放置しておくすべての科目の登録が無効となり授業を受けていても単位を修得できないこととなりますので、必ず履修登録期間内に訂正してください。また、必ず確認通知書を印刷して、エラーの表示がないか等、最終確認をしてください。

確認通知書には個人情報に記載されています。保存・印刷する場合は保存先・印刷先をよく確認し、情報が漏洩しないよう注意してください。特に自分のパソコンでない場合は、保存した確認通知書がパソコン（ごみ箱やフォルダなど）に残らないよう、十分に注意してください。

5. 登録エラーの訂正（情報システム）

Web 履修登録中にエラー表示が出た場合は、Web 履修登録期間中に必ず訂正をして、正常に登録を完了させてください。

(1) 取消または登録エラー訂正をしなければならない場合

次の事項に該当する場合には、必ず訂正をしてください。

- a. 履修条件に反する者（履修対象年次を誤っている、クラス指定に従っていない等）
- b. 履修単位制限の上限オーバー
 - 年間履修配当単位オーバー（年間履修可能総単位数を超えた場合）
 - 分野履修オーバー
 - 教職科目を含んだ年間履修単位オーバー
- c. 同一年次・同一時限の科目重複及び既に修得済の科目の再履修をした者
- d. サイエンス・ラボ、情報関係科目など、事前登録や抽選が必要な科目において受講許可を得ないで登録した者
- e. 進級・卒業に関する単位規程上、履修の不足がある者

(2) 登録エラーを放置した場合の影響

- a. 履修条件に反する場合
登録科目が無効となり、受講し受験しても単位を修得できません。

- b. 登録番号の間違い、科目の間違いの場合

履修登録科目確認通知書に記載されている科目を正規の登録科目とみなします。従って、登録しないで授業に出席している科目の試験を受験しても単位を修得できません。

上記の訂正事項は進級、卒業に大きく関わるものなので、訂正もれのないよう十分に注意してください。

6. 秋学期初めの秋学期科目追加・変更・削除について

秋学期の初めに、秋学期科目の追加・変更・削除を認めます（通年科目は除く）。申請は情報システム上で行いますが、申請期間および方法は学部掲示板等で確認してください。また、申請に際しては、以下の注意事項を必ず確認してください。

秋学期科目の追加・変更・削除においては、次の諸点に注意してください。

- a. 通年科目は追加・変更・削除できません。したがって、すでに通年科目を履修している曜日・時限に秋学期科目を新たに登録することはできません。
- b. 追加・変更は、履修可能単位に関する制限を超えない範囲においてのみ行うことができます。なお、春学期に不合格だった科目の単位数を履修可能単位数に上乘せすることはできません。
- c. 追加・変更する際は、必ず担当教員の受講許可を各自で得るようにしてください。（特に少人数の授業や出欠確認を実施している科目など）
- d. 進級・卒業に必要な単位（修得見込み含む）に不足が生じる削除はできません。春学期成績を確認の上で、登録科目の追加・変更・削除をしてください。
- e. 少人数科目の削除、抽選や選抜を経て登録した科目の削除を行う場合、担当教員に対し、秋学期から登録を削除する旨を伝えてください。
- f. 英語スコア認定の追加・変更・削除はできません。

ILAC 科目の目的と内容

※ 履修上の注意は P. 学部一 (19) ～を参照してください。

ILAC科目100番台～300番台／0群～5群の履修について

ILAC (アイラック) 科目は半期 (春学期・秋学期) ごとに授業を完結する Semester 制を採用しており、科目名の後に「I / II」、「A/B/C/D・・・」と表記します。成績評価は半期ごとに出され、単位を修得していきます。科目名称によって、以下のような特徴があります。履修計画の参考としてください。

- ①「I / II」とは、連続履修することで、より理解が深まるとされる科目を示しています。II については I を履修していることが前提となっている科目もあるので、履修登録前に、必ず Web シラバスで確認してください。特に外国語科目 (必修および選択科目) は、原則として I / II を連続履修することが前提とされていますので、注意が必要です。
- ②「A/B/C/D・・・」とは、「I / II」のように履修の順次性を問わない科目を示しています。例えば、「〇〇学A」と「〇〇学B」では、「〇〇学B」は必ずしも「〇〇学A」の履修を前提としていません。「〇〇学A」と「〇〇学B」とで、異なる分野の学習を通じて、相互の理解を深めることができます。
- ③リベラルアーツ科目は、科目名の後に「L」が付きます (例: □□学 L I / L II、△△論 LA/LB/LC/LD・・・)。これは、基盤科目との違いを明示するものです。リベラルアーツ科目には、基盤科目を履修していることが前提になっている科目もあります (例: 倫理学 L I は、倫理学Iの内容をさらに発展させて学ぶ)。履修登録前に、Web シラバスで必ず確認し、計画的な学習を心掛けてください。

Web シラバスでは、授業内容詳細を全て確認できます。履修前 Web シラバスを確認しましょう。

単位を修得した同名科目を再度履修することはできません。

ただし、I と II、A と B、A と LA 等は異なる科目です。例えば、〇〇学Aと〇〇学LAであれば、どちらも履修することができます。科目名称のルールを理解し、計画的に履修してください。

なお、以降の説明では、特別な場合を除き「I」「II」(または「III」「IV」)等の記述を省きます。

(1) ILAC 科目修得により目指すもの

ILAC 科目は、人文科学・社会科学・自然科学・情報科学・外国語・保健体育・キャリアデザインなどの各分野をバランスよく学ぶことによって、社会や世界で活躍するために必要な、幅広い知識や柔軟な思考法、自主的に課題を発見しそれを解決する力や文章作成能力、他者との円滑なコミュニケーション能力など、真の意味での「教養」を身につけるために開設されています。基礎力を養成する基盤科目から、応用・発展的なリベラルアーツ科目、専門性の高い総合科目など、段階に応じて多様で体系的な学修が可能となります。

(2) ILAC 科目のカリキュラムについて

各科目には次のような番号 (ナンバリング) が付されています。これは「学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示するための仕組み」です。

100 番台には、基盤科目・外国語科目・選択基盤科目が設置されています。大学生としての基本的な学問への臨み方、および各分野の知識・考え方を身につけ、大学4年間の学習の土台づくりを行うことを目的としています。

200 番台には、リベラルアーツ科目と外国語科目が設置されています。リベラルアーツ科目では、基盤科目の内容をさらに発展、または専門的にした授業が開講されており、皆さんの興味に応じて、教養を深め、視野を広げることができます。また、外国語科目では、1年次に履修した語学のスキルや教養としての外国語をさらに向上させます。

300 番台には、総合科目・教養ゼミが設置されています。100 番台・200 番台の科目の学びをさらに発展させ、真のリベラルアーツの修得を目的としています。少人数で開講される教養ゼミでは、教員や受講生との議論・学び合いを行うことができます。

移り変わりの激しい時代を生きる私たちには、学問の壁を越えて、柔軟な発想で知識・考え方を取り入れ、直面する問題を打開し、自由な世界を切り開いていくことが必要です。リベラルアーツとは単に教養科目を意味するものではなく、自由な世界を切り開く知識・考え方、それを修得する力を示します。真のリベラルアーツを、ILAC 科目で修得していきましょう。

科目名称	基盤科目	外国語科目	選択基盤科目	リベラルアーツ科目	外国語科目	総合科目・教養ゼミ
分野	1・2・3・5群の科目	4群(英語、諸外国語)の必修科目	0群の科目	0～5群の科目	4群・選択外国語	1～5群の科目
科目	日本古典文学A/B 社会学I/II 入門生物学A/B 等	English1 I/II English2 I/II ○○語1 I/II ○○語2 I/II	基礎ゼミ、情報処理演習 I キャリアデザイン入門 法政学への招待 等	日本史I I/II 地理学LA/LB フランスの文化と社会 LA/LB 健康の科学LA/LB 等	English3 I/II ビジネス・イングリッシュ I/II ○○語3 I/II ○○語4 I/II 中国語コミュニケーション基礎 I/II	美術論A/B 人間行動学A/B 集合論A/B 教養ゼミ(各教養ゼミごとにテーマあり) など
概要	教養(リベラルアーツ)・専門学部の学びの基盤となる、人文科学・社会科学・自然科学のそれぞれの学問分野における基礎的な知識と基本的な考え方、および保健体育科目をバランス良く学びます。	大学の初年次生として必要な基礎的な語学力を養うと同時に、異文化や世界の情勢への理解を深めるため、英語をはじめ諸外国語(ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語)をバランス良く学びます。	既存の学問分野にとらわれない汎用性のある知識や技能を身に付けるため、基礎ゼミや情報処理、就業力育成など、初年次に修得すべき科目を学びます。法政学では法政大学の歴史や現状について学ぶことができます。	基盤科目で修得した基礎的な知識の上に、さらに深い教養を身につけます。各学問分野をより高度に、バランス良く修得するとともに、専門科目の枠組みに縛られない体系的・学際的な学びを可能にします。	学生の選択に基づく、より高度な語学力や異文化理解力の向上を目指し、現代のグローバル社会に通用する国際感覚を養います。英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語の全てが開講されています。	リベラルアーツ科目と連動した発展的な学びから、単独で完結する学びまで、多様な科目を配置し、真のリベラルアーツの修得を目指します。教養ゼミではゼミナール形式で、学部専門科目とは異なる高度な学びを実現します。
年次	100番台 ※1 (1年生以上)			200番台 ※2 (1・2年生以上)		300番台 ※3 (2年生以上)

- ※1 100 番台・・・主として基礎的な内容の科目を意味しています。
- ※2 200 番台・・・主として応用的な内容の科目を意味しています。
- ※3 300 番台・・・主として発展的な内容の科目を意味しています。

市ヶ谷リベラルアーツセンターでは、カリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリーを作成しています。以下から確認することができますので、履修の際には、本冊子、Web シラバスとあわせて、ぜひ参考にしてください。

URL : <http://www.hoseikyoiiku.jp/ilac/index.html>

カリキュラム・マップ	ILAC 科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目と学習到達目標の相関関係を表で示したもの	
カリキュラム・ツリー	学習目標を達成するために、ILAC 科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目がどの分野、年次に配当されているかなどを図で示したもの	

(3) 各分野の概要について

ILAC 科目0群

ILAC 科目0群を開設する目的は、ILAC 科目の1群から5群までの科目の履修を容易にするため、それらの導入部を学び、基本的な知識を備えるためです。

- ・「大学を知ろう <法政学>への招待」(2018 年度まで「法政学への招待」)、「法政学の探究」は法政大学の歴史と現状を知ることで、本学で学ぶことの意義を考え、より深い理解を得るための科目です。
- ・「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン応用」は、「大学生が『就業力』を身につけるために、授業で何をどのように学ぶべきか」を目的に編成された科目です。卒業後に働くことを考えたとき何を大学時代に学んでおけばいいのか、深く考える仕組みを授業に取り入れています。

ILAC 科目1群(人文科学分野)

1群の科目は、文化全般をその研究対象とし、さらに、文化を創り出す人間とは何か、という研究課題をもっています。そのため、研究対象と講義内容は、多岐にわたります。

基本となるのは、「文学」「歴史」「哲学」の3分野といえます。文学では、日本の古典・近現代文学を始め、中国古典文学や西欧文学の講義を開講しています。哲学や歴史についても同様に、日本・東洋・西洋それぞれの専門の教員による講義が設置されており、さらに論理学・倫理学・言語学・文章論・宗教学・芸術なども含むさまざまな分野の教員による講座を開講しています。

以上の科目は「人文科学」と呼ばれ、古来教養の根幹をなす学問分野です。これらの科目を受講することを通して、幅広い知見を身につけるとともに、過去を学ぶことによって現在を考察し、さらには未来を展望する能力をつけることが狙いとなります。

ILAC 科目2群(社会科学分野)

2群の開講科目は、「法学」「政治学」「マクロ経済学」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学」「社会思想」の8分野です。

これらの科目は、いずれも、人間社会のさまざまな側面を、それぞれ独自の視角や方法によって分析・検討するものです。各科目では、それぞれの分野の基本的な知識や視点を学ぶことで、人間社会のさまざまな現象を理解するための基礎的な教養と知見を身につけます。それと同時に、特にリベラルアーツ科目を通じてそれぞれの分野が築き上げてきた理論や手法を学ぶことで、専門的・発展的な問いを考えていくための思考力・洞察力を養います。

学生のみなさんには、それぞれの科目を通じて、自分がそのなかの一員である社会について理解を深めて、人間社会のさまざまな現象や問題について考える基礎としてほしいと思います。

ILAC 科目3群(自然科学分野)

3群は、さまざまな自然科学の授業によって構成されています。

基盤科目では、自然科学の学習に必要な基礎的知識を習得します。リベラルアーツ科目では、さまざまなテーマを発展的に学習します。さらに、専門科目である総合科目や教養ゼミを通して、それらのテーマをより深く探求できるようなカリキュラム構成となっています。

基盤科目は、「教養数学」「基礎数学」「入門物理学」「入門化学」「入門生物学」「天文学」「科学史」および「サイエンス・ラボ」からなる選択必修科目です。いずれも、文科系の初学者にもわかりやすく学ぶことができるよう工夫されています。

リベラルアーツ科目は、「数学特講」「発展数学」「教養物理学」「教養化学」および「教養生物学」からなる選択必修科目です。各自の興味に合わせて発展的な学習を行ってください。

なお、基礎数学および発展数学は順次性のある科目です。Ⅰ→Ⅱの順に履修することが望まれます。

3群の履修を通して、学生の皆さんが自然科学そのものに興味を持つだけでなく、自然科学を通じたものの見方を習得し、各自の専門分野における学習・研究に役立てることが期待されています。

ILAC 科目4群(外国語科目)

4群には英語と諸外国語〔ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語(留学生のみ)〕があります。

★受講定員のある科目:春学期1回目の授業に出席し、担当教員の受講許可を得てください。選抜を行う場合、方法は教員が指示します。許可された学生のみ履修登録できます。

★春学期のみ、秋学期のみ履修を希望する場合も、必ず春学期の第1回目の授業で教員にその旨を申し出て、受講の許可を受けてください。

選抜結果は法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板で発表します。

<英語>

ILAC 科目の「英語」では、高校までに身につけた運用能力をさらに伸ばすとともに、世界の多様な文化に対する理解を深め、批判的思考能力を涵養します。

ILAC 科目のうち英語科目の構成は、100 番台必修科目(1年次・2科目)、200 番台選択必修科目(2年次・1科目)、選択科目(1～4年次)に大別されます。必修科目は、英語運用能力の向上を目指す English 1 (リーディング系) と English 2 (表現系) で、選択必修科目は、1年次に培った力を総合的に展開する English 3 (テーマ別、4技能統合型) で、いずれも習熟度別・少人数編成のクラスで行われます。選択科目は、レベル別に開講されている多様な科目のなかから、自由に選んで、1年次から履修することができます(ただし、必修科目ならびに選択必修科目の英語単位は3年次までに修得する必要があります)。

また上記の科目のほかに、さらに総合的な英語能力を伸ばすための授業として、総合科目(教養ゼミ)(2～4年次)が開講されています。総合科目は、専門科目として扱われ、修得単位は専門科目の単位となります。そのほか、グローバル・オープン科目として開講されている Intercultural Communication A～D もあります(詳しくは WEB シラバスを参照)。この4科目は200番台リベラルアーツ科目として認定されます。この4科目は200番台リベラルアーツ科目として認定されます(詳しくは WEB シラバスを参照、ただし総合科目やグローバル・オープン科目は休講となることもありますので、年度ごとに Web シラバスを確認してください)。

<諸外国語>

「諸外国語」は、それぞれの言語を学びながら、その言語が用いられている地域の歴史・文化・生活に接し、理解を深めることを目的に開講されています。

外国語科目は、必修諸外国語(1・2年次)、選択必修外国語(2年次以上)、選択外国語(2年次以上)、さらにリベラルアーツ科目と総合科目から構成されています。必修諸外国語では、大学で新しく出会う外国語の基礎を1年次に学び、その基礎力を用いて2年次にさらなる学習を続けます。また、学び始めた外国語の能力をより高めたい場合には、1年次秋に英語と諸外国語から選ぶ選択必修外国語で、諸外国語を選択すると、より多くの学習の機会を楽しむことができます。その他に、選択外国語には、「〇〇語コミュニケーション」「〇〇語視聴覚」「時事〇〇語」などバラエティ豊かな科目が設置され、さまざまなアプローチから外国語に接し、語学力の修得とともに生きた外国語の世界に触れながら4年次まで学習を続けることができます。

リベラルアーツ科目には、1年次から履修できる「〇〇語の世界 L」という入門のための科目があります。2年次から履修できる「〇〇の文化と社会 L」では、その言語が話される地域の文化や生活を広く深く学ぶことができます。総合科目では、それまでに学習した外国語の能力を十分に生かしつつ、より高度で専門的な内容を学んでいきます。また、総合科目の中には、英語と諸外国語を一つ学んだのちに、さらにもう一つの外国語の世界に触れてみたいと思うグローバルな関心を抱く学生のために「第三外国語としての〇〇語」という科目があります。

このように、法政大学では、とても多彩な外国語の世界がみなさんを待っています。

なお、選択外国語科目のテキストは、担当教員より受講が許可されてから購入してください。

ILAC 科目5群(保健体育分野)

スポーツ総合演習は、①クラス指定の週1回半期型、②自由に選択履修できる週1回半期型の2つの形式で開講されています。

①は必修科目で、原則学部・学科・所属クラスを単位として履修する授業の学期・曜日・時限が指定されています。②は選択科目で、いずれも学部を問わず履修可能ですが、履修希望者が多数の場合には事前のガイダンスにおいて授業ごとに抽選で履修可能者が決定されます。卒業のためには、上記のいずれかの形式で2単位を取得することが必須となりますが、5群の単位としては①、②の授業を各1回、計4単位を上限として履修・取得することが認められています。

授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験およびレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与することになります。

スポーツ総合演習の詳細については、経営学部のガイダンスの際に説明します。また、2年次以降にも選択科目の内容を深めた5群科目も用意されています。

(4) 各外国語科目の授業内容等について

各外国語科目(英語および諸外国語)の授業の目的や目標、各年次で履修する授業内容、履修パターンなどについて、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板にて紹介しています。

また、英語については、選択科目、総合科目、グローバル・オープン科目のレベルも掲載していますので、必ず確認してください。

法政ポータルサイト(Hoppii)

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



経営学部スタディ・アブロード・プログラム

1. 目的

経営学部スタディ・アブロード・プログラム（「SAプログラム」）は、将来、国際社会で活躍するビジネス・パーソンにとって必要な英語のコミュニケーション能力を集中的に向上させるとともに、海外生活を体験することによって異文化理解を深めることを目的とするプログラムです。

2. 対象年次・学生

2～4年次生

※派遣の前年度に選考を行いますので、ご注意ください。

3. 派遣先大学・期間

派遣先大学は、ネバダ大学リノ校（米）、モナシュ大学（豪）を予定しています（派遣先大学は年度により変更する可能性があります）。派遣期間は、2～4年次の秋学期に3～4ヵ月派遣する形になります。

4. 選考方法

SAプログラムでは、外部英語能力試験の受験結果、小論文（志望動機）、成績（GPA）、面接による選考を行います。

なお、2年次にSAプログラムへ参加を希望する場合、1年次秋学期に行う「2年次英語・諸外国語選択希望登録」で、必ず「英語（パターンA）」を選択してください。「諸外国語（パターンB）」を選択した方はSAプログラムの選考へ参加することができません。

参加者選考の詳細は、経営学部 Web 掲示板で確認してください。

5. 単位認定

派遣先で履修した科目は、事後に経営学部教授会がその内容・授業時間を勘案の上、「専門教育科目」の1つのカテゴリーである「グローバル・ビジネス/GBP科目」の中の「SA認定科目」として単位認定を行います。

認定対象となる科目は、英語関係及び経営関係（社会科学関係）の科目です。「SA認定科目」はILAC科目4群（英語）の卒業所要単位に振り替えることができます（卒業所要単位を超えては振り替えられません）。

「SA認定科目」による単位認定数の上限は16単位です。2年次にSAプログラムへ参加した場合、認定単位のうち、1単位をSA中履修することのできないILAC科目4群（English3Ⅱ）に振り替えます。ただし、派遣先大学のカリキュラムや履修指導等、また本人の成績修得状況によっては、認定される単位数が上限に達しない場合もあります。2年次にSAプログラムへ参加した方で、4年次にも参加を希望する場合は認定される単位について、事前に経営学部窓口で確認してください。

6. 派遣事前・事後授業

派遣予定者は、SAプログラム派遣事前授業の履修が必須となります。また、帰国後は、事後授業を実施予定です。

7. 留学費用

SA プログラムの留学に関わる費用は、すべて個人負担です。派遣先大学へ支払う授業料、住居費、生活費、渡航費用、海外旅行保険などが必要となります。また、為替レートの変動に応じて支払い金額は異なります。なお、法政大学への授業料は通常通り必要となります。

8. 奨学金

経営学部 SA プログラムの参加者を対象とした奨学金が予定されています。

9. 履修登録上の注意

2年次に SA プログラムに参加する場合、2年次秋学期の English3-Ⅱ、諸外国語 3-Ⅱ（4-Ⅱ、5-Ⅱ）の履修については、参加者に別途お知らせします。

10. 他の留学制度との重複利用について

海外留学による単位認定は 1.5 年まで認められます（その内、0.5 年は SA プログラムに限定）。そのため、SA プログラムで SA に参加した場合は、その後 3 年次または 4 年次で認定海外留学制度または派遣留学に参加することが可能です。

なお、認定海外留学制度、派遣留学については、グローバル教育センターへお問い合わせください。

授業について

1. 授業時間割表

- (1) 年度初めに経営学部的时间割表と ILAC 科目・総合科目の時間割表を一人各一枚配付します。
- (2) 事情により、教室や担当者が変わる場合があります。その際は、変更する旨を掲示します。また、年間を通して変更する場合はさらに掲示板の時間割表の訂正も行います。

2. 掲示板

掲示板については法政大学ポータルサイト（Hoppii）を参照してください。

3. 教科書・参考文献などの指定

Web シラバスまたは授業内で担当教員が指示します。

4. 休講（休講については市ヶ谷共通項目も参照してください。）

授業は、担当教員の病気や行事のために休講となることがありますので、掲示板もしくは情報システムで確認してください。なお、やむを得ない事情により教員が大学へ連絡できないこともあり、**授業開始時間から 30 分経過して担当教員が出講しない場合は休講とします。**ただし、その際は教室変更がないかも確認してください。

5. 教授室

教授室は、大内山校舎 3 階、富士見坂校舎 1 階、富士見ゲート 2 階の 3 ヶ所にあり、ボアソナード・タワー5 階には教員控室があります。

6. 教員の住所について

教員の住所は公開していません。経営学部窓口では、教員との連絡依頼に応じていません。教員に用事のある人は授業時間内もしくはその前後、またはオフィス・アワーを利用してください。

7. 授業の欠席について

学部窓口では、基本的に欠席証明書の発行や教員への欠席連絡は行っていませんので、やむをえない事由で授業を欠席する場合は、授業時間内もしくはその前後に教員に直接説明するようにしてください。ただし、感染症（インフルエンザ、はしかなど）に罹患して欠席した場合は法政大学ポータルサイト（Hoppii）を参照してください。

試験について

1. 試験

毎年、定期試験として、7月中旬より春学期試験、1月中旬より秋学期試験を実施しています。

科目によっては、授業時間中の筆記試験、レポートの提出、平素の学習状況、中間試験等により総合的に考慮して評価し、定期試験に代えることもありますので、十分に注意してください。

2. 試験時間割

- (1) 定期試験の時間割は、原則として試験開始日の1週間前に発表します。
- (2) 試験時間割の見誤りによる試験日、試験時間、試験教室のとりちがえが多いので、必ず本人が試験時間割を見て確認し、間違いのないようにしてください。
- (3) 試験時間割は通常の授業時間割とは異なりますので、特に注意してください。
- (4) 試験時間は、原則としてILAC科目60分、専門教育科目・連環科目は60分または90分です。

3. 受験上の注意

- (1) 受験科目は登録した授業科目に限ります。未登録の授業科目を受験しても単位修得は認めません。
- (2) 受験者は必ず指定された教室で受験してください。
- (3) 試験場では試験監督者の指示にしたがってください。
- (4) 試験開始20分経過後は入室を認めず欠席扱いとします。レポート提出による試験も同様の扱いとします（レポート回収は20分間）。
- (5) 遅刻は20分までしか認められません。ただし、交通機関の事故等、本人の責によらない不測の事態により遅れた場合は、「遅延証明書」等の書類をもって、速やかに試験実施本部（場所は試験時に掲示、もしくは窓口で確認）に申し出て、指示を受けてください。特に交通機関の乱れにより遅れた場合は、必ず試験当日のうちに申し出てください。ただし、証明書の提出によって無条件で受験できるとは限りません。また、以下の理由では認められません。
 - ・ 個人的理由による遅刻（P.学部一(49)を参照）
 - ・ 遅れた時間以上の遅延証明がない場合（例：試験開始から30分遅れたが、10分の遅延証明しかないのは、20分以内に入室できたとみなすので受験不可）。
 - ・ 通学区間外の経路を利用して遅刻した場合
- (6) 試験にあたっては絶対に不正行為のないようにしてください。試験において、替玉受験、答案の見せ合い、カンニング・ペーパーの使用等の不正行為を行った者または行おうとした者は、大学より譴責、停学等の厳重な処分を受けることとなりますので、学生としての真摯な態度で試験に臨んでください。
- (7) ノート、参考書等の参照が許されている授業科目を受験するときは、必ず自分のものを使用してください。貸借は認めません。試験中の貸借は不正行為とみなします。
- (8) 答案を提出しないで試験場から退場した場合は不正行為とみなします。白紙の場合でも氏名等を記入して必ず提出してください。
- (9) 受験中は学生証を通路側の机の上に顔写真面を表にして提示しておいてください。
- (10) 試験当日学生証を忘れた者は、「仮受験票」の発行を受けてから試験場に入ってください。発行場所についてはWeb掲示板でお知らせします。
- (11) 試験開始後20分間は退室ができません。授業科目によっては30分以上のときもあります。
- (12) 大学内の各窓口は、試験に際して使用するあらゆる用具等の貸し出しは行いません。
- (13) 受験中は携帯電話、スマートフォン等の電源は切ってください。なお、それらを時計および電卓、辞書として使用することはできません。
- (14) 詳しくは、試験前に開示する試験時間割に記載されている「定期試験に関する注意事項」をよく読んでください。

4. レポートの提出の仕方

レポートの作成方法について、学習支援ハンドブックを参照してください。

なお、経営学部窓口では、原則としてレポートの受領はしません。

5. 不正行為に対する措置

不正行為は絶対行わないでください。不正行為を行った経営学部生に対しては、下記の要領により厳正な措置をとるものとします。

(1) 処分基準

- ・定期試験（それに相当する授業内試験を含む）における不正行為

不正行為様態	処分内容
① 計画性の弱い、または偶発的な不正行為 例： a. 他人の答案の覗き見 b. 問題・答案用紙配布後の話し合い c. 参照可の資料等の貸借 d. 不審な挙動を注意した監督者の指示に従わない e. 答案の持ち帰り	○ 厳重注意、譴責または1カ月未満の停学 ○ 当該科目は無効（E評価）
② 計画性が強い、または意図的な不正行為 例： a. 参照不可の試験でカンニングペーパー等使用 b. " 机上への書き込み c. " テキスト・ノート等の閲覧 d. 参照可の試験で許可されたもの以外の参照・使用 e. 許可されていない機器（携帯電話・スマートフォン等）の持ち込み、使用。 f. 答案用紙の交換（行為の態様により③の受験依頼に該当） g. 組織的なカンニング行為	○ 停学1カ月以上3カ月未満 ○ 当該科目は無効（E評価）に加え、原則として当該学期全履修科目の受験を無効（E評価）
③ 受験依頼（いわゆる替え玉受験） 例： a. 依頼された他人が本人になりすまして受験（本人の学生証使用） b. 答案提出直前に依頼した学生の氏名に書き換えて提出	○ 停学3カ月以上6カ月未満または無期停学 ○ 当該学期全履修科目の単位を無効（E評価）

※上記③に関し、依頼を受けて受験行為を行った者も学則上の処分の対象となりうる。

・論文（卒業論文を含む）、レポート、作品等の成績評価に関わる提出課題における不正行為

不正行為様態	処分内容
①剽窃（ひょうせつ）行為 例： a. 他人の論文、出版物、ウェブサイト、作品等から、適切な引用処理を行わずに限定的に流用した	○嚴重注意または譴責
②悪質な剽窃（ひょうせつ）行為 例： a. 他人の論文、出版物、ウェブサイト、作品等から、適切な引用処理を行わずに流用した b. 他人と示し合わせ、他人とほぼ同一の内容で課題を作成し提出した c. 他人が作成した論文等を、自己の氏名に書き換えて提出した d. 指導にも関わらず繰り返し剽窃行為を行った	○停学3カ月未満 ○当該科目は無効（E評価）
③代筆依頼 例： a. 論文・レポート等の作成を代行する企業・個人等の他者に作成を請け負わせ、納品物を自己が作成したものと提出した	○停学3カ月以上6カ月未満 ○当該科目は無効（E評価）
④その他不正行為 例： a. データの捏造（ねつぞう）、改竄（かいざん）。	○停学3カ月未満 ○当該科目は無効（E評価）

※上記③に関し、依頼を受けて代筆行為を行った者も学則上の処分の対象となりうる。

・授業・試験等の出席に関わる不正行為

不正行為様態	処分内容
①代返行為・虚偽申告 例： a. 他人に依頼し自己の出席報告を行わせた b. 他人から依頼を受け他人の出席報告を行った c. 出席報告書（出席カード等）の偽造により提出した d. 欠席理由に係る証明書類（診断書等）を偽造または虚偽の内容により提出した ※出席報告には、口頭によるもの、出席カード等紙面によるもの、学生証の情報を読み取るもの、各種システムを介して行うもの、いずれも含む。	○嚴重注意、譴責または1カ月未満の停学

・不正行為を複数回行った場合

過去、不正行為により処分を受けたことがある者が、在学中に再び前記のいずれかの不正行為を行った場合には、処分を加重し、基準より重い処分を行うことがある。

(2)懲戒処分の発効日

原則として当該学期の定期試験期間最終日の翌日とする。

● 未受験科目代替措置(追試験等)について ●

本人の病気などのやむを得ない事態により定期試験およびそれに準ずる試験を受験できなかった場合は、以下の要領により、追試験の申請をすることができます。ただし、申請理由によっては追試験の受験資格を得られない場合もありますので、自己判断せず、定期試験及びそれに準ずる試験を受験できないと判明した時点で、経営学部窓口へ相談してください。

(1) 受験対象者

理由	必要書類	備考	受付期間
電車遅延	遅延証明書	以下の場合は認めない。 ・通学区間外の経路を利用して遅刻した場合 ・遅れた時間以上の遅延証明書がない場合(※1) ・試験開始時刻以降の入室を想定した場合(※1)	試験実施日当日のみ
病気・怪我	診断書(コピー不可・試験当日に登校が不可能である旨がわかる記載が必要)	本人の病気・怪我のみ	当該試験実施日の翌日から1週間以内(翌週の同じ曜日まで)、かつ、 <u>定期試験期間最終日まで</u> 。
忌引き	会葬礼状	親族二親等(両親・兄弟姉妹・祖父母)の通夜・告別式のみ	受付最終日が、窓口業務を行わない日の場合は、その翌窓口開室日まで。
就職活動	氏名・日程等が記載された通知等	採用選考日(面接・筆記試験)のみ(※2)	なお、受付最終日までに手続きができない場合は、学部窓口へ連絡・相談すること。
公務員・教員・資格試験	氏名・日程等が記載された通知等(受験票等)	試験日・訪問日のみ 指定試験合格者奨励金、L・U キャリアアップ奨励金の該当資格のみ	
体育会	保健体育部発行の「競技参加による欠席願」	体育会所属の学生のみ	
国体・国家代表等	対象学生の名前が記載されている大会の競技日程等		
教育実習、介護実習、資格課程科目の実習参加日程との重複	実習参加証明書	機関名・実習期間・学生所属・氏名が記載されたもの	

※1 例: 試験開始から21分遅れたが、20分の遅延証明しかない場合等。

※2 面接・筆記試験以外の場合(または面接・筆記試験で通知等がない場合)、受験企業から採用に直結することの証明を得ること。その場合、学務部指定の就職試験受験証明書を必要書類とする。

(2) 手続方法

履修登録科目確認通知書と上記の書類を受付期間内に、経営学部窓口を持参し、届け出を行ってください。

また、経営学部 Web 掲示板に具体的日程が掲示された場合は、掲示された期間を手続期間とします。

(3) 受験対象科目

ILAC 科目、専門入門科目 100 番台（情報学入門 I / II を除く）、同 200 番台、各学科専門科目、グローバル・ビジネス/GBP 科目（定期および授業内試験実施科目のみ）、特殊講義、連環科目（法律関係、総合科目のみ）とします。なお、他学部公開科目、グローバル・オープン科目は、開講している学部における取り扱いによります。

(4) 試験方法

ILAC 科目……………原則として追試代替措置（レポート、平常点・出席点による評価など）となります。

専門教育科目・連環科目……………追試験または追試代替措置となります。これらのうち、具体的にどのような方法で行うかは、担当教員に一任されているので、経営学部窓口で指示を受けてください。

再試験について

1. 進級再試験 (3年次生のみ)

(1) 受験対象者

3年次生で当該年度において履修の登録をしており、D評価を受けたため3年次から4年次への進級において、ILAC科目、専門教育科目、連環科目を合わせて2科目以内の不足を生じた学生。

(2) 受験対象科目

再試験の対象になるのは、当該年度において履修登録をし、D評価を受けた以下の科目のみです。E評価は対象外ですので注意してください。

ILAC科目……ILAC科目外国語科目4群のみ

専門教育科目……専門入門科目100番台(情報学入門Ⅰ／Ⅱを除く)、専門入門科目200番台、各学科専門科目、グローバル・ビジネス／GBP科目の内、SA認定科目を除く経営学部設置科目

連環科目……法律関係のみ

(3) 受験可能科目数

1科目または2科目(科目名称がⅠ／Ⅱの科目の場合は、ⅠとⅡそれぞれが1科目です。両方合わせて1科目ではありません。)

2. 卒業再試験 (4年次生のみ)

(1) 受験対象者

4年次生で当該年度において履修の登録をしており、D評価を受けたため卒業所要単位のうち1科目の不足を生じた学生。

(2) 受験対象科目

再試験の対象になるのは、当該年度において履修登録をし、D評価を受けた以下の科目のみです。E評価科目およびILAC科目、下記にない専門教育科目・連環科目は対象外ですので注意してください。

専門教育科目……専門入門科目100番台(情報学入門Ⅰ／Ⅱを除く)、専門入門科目200番台、各学科専門科目、グローバル・ビジネス／GBP科目の内、SA認定科目を除く経営学部設置科目

連環科目……法律関係のみ

(3) 受験可能科目数

1科目(科目名称がⅠ／Ⅱの科目の場合は、ⅠとⅡそれぞれが1科目です。両方合わせて1科目ではありません。通年で履修するⅠ・Ⅱの科目は、ⅠとⅡ合わせて1科目とします。)

3. 試験の方法

筆記試験、レポート試験または面接試験のいずれかとし、そのつど科目ごとに定めます。

4. 諸注意・その他

- 再試験に対する追試験は行いません。
- 当該年度の試験において不正行為があった場合には、再試験の受験資格を失います。
- 3年次生・4年次生は、発表のときに必ず進級または卒業の可否を確認してください。再試験の該当者、対象科目および試験方法は、所定期間内に学生自身が成績通知書で確認し、自分で経営学部窓口に来て手続きをしてください。所定期間を過ぎての手続きおよび代理人による手続きは一切認めませんので注意してください。
- 再試験該当者で指示に従わなかった学生、および再試験で再びD評価を受けた学生は、進級または卒業できません。
- 9月卒業申請者に限り、春学期末に再試験を実施します。なお、同じ科目の再試験を当該年度に複数回受験することはできません。

成績および進級・卒業発表について

1. 成績評価

- (1) 単位の修得は期末および学年末の試験の結果によりますが、授業科目によっては教室における授業時間中の筆記試験、レポートの提出、平素の学習状況、または面接試験等により、総合的に考慮して判定することがあります。
- (2) 外国語科目や実技、実験をともなう授業科目、演習科目の単位の修得は、一般に授業への出席がより重視されます。
- (3) 成績評価 (LG:Letter Grade) について

2019年度(2019年4月)から、従来よりきめ細かく評価する新しい成績評価基準を導入します。成績評価(LG)は、11段階制(S、A+、A、A-、B+、B、B-、C+、C、C-、D)です。各LG内で特に留意すべき加点・減点がある場合、+-を付加します。ただし、SとDに関しては+-を使用しません。合格点は60点以上です。

素点評価する場合	素点評価しない場合	評価	GP	合否
100~90点	学習目標を満たし卓越した成績をあげた	S	4.0	合格
89~87点		A+	3.3	
86~83点		A	3.0	
82~80点		A-	2.7	
79~77点	おおむね学習目標を満たしている	B+	2.3	
76~73点		B	2.0	
72~70点		B-	1.7	
69~67点	最低限の学習目標を満たしたが不十分な点も見られる	C+	1.3	
66~63点		C	1.0	
62~60点		C-	0.7	
59~0点	学習目標を満たしていない	D	0.0	不合格
未受験、採点不能	未受験、採点不能	E		

2. GPA制度

全学部 of 科目において GPA(Grade Point Average)制度が導入されています。詳しくは、市ヶ谷共通項目を参照してください。

3. 成績発表

- (1) 成績は、「成績通知書」によって発表します。
- (2) 成績発表は、9月中旬(春学期科目)と3月上旬(秋学期科目・通年科目)に行います。日時についての詳細は掲示します。
- (3) 成績通知書は、新年度の履修科目の選択・登録の資料となりますので、保管して参考にしてください。

成績評価調査

登録した科目を受験し、また、レポート提出等の定められた義務を果たしているにもかかわらず、その評価がDまたはEとなっている場合に限り、所定の期間内(成績発表時に掲示)に申し出れば調査を行います。

ただし期間外の申出及び、A+~C-の評価については理由の如何を問わず、学部事務での調査は一切行いません。

※単に点数を知りたい、などの問い合わせは受け付けません。

4. 進級および卒業発表

- (1) 発表は3月上旬頃に成績通知書の公開により行います。
- (2) 必ず本人が進級または卒業の可否を通知書により確認してください。
- (3) 再試験該当者(3・4年次生)は直ちに経営学部窓口で本人が手続きを行ってください。
- (4) 卒業が決定した者は学位授与式に出席し、学生証と引き換えに学位記を受け取ってください。
- (5) 9月卒業が決定した者は9月の学位記交付式に出席し、学生証と引き換えに学位記を受け取ってください。

注：キャリア就職システムへ進路報告をしていない場合、4年次秋学期の成績および卒業の確認(成績通知書の出力)ができません。詳細はキャリアセンターへ問い合わせてください。

早期卒業について

経営学部では、一定の要件を満たした成績優秀な学生に対し、3年次末で卒業を認める早期卒業制度の運用を始めます。本制度を利用すれば、より早期につぎのキャリアを始められる、4年次の授業料負担がなくなるなどのメリットがあります。一方、現状では就職や進学に関するさまざまな仕組みが4年次末の卒業を前提にしていることが多く、3年次末で卒業する場合は、それによって不利益が生じることのないよう、自分のキャリアをしっかりと見定めておくことも必要となります。

以下に、早期卒業に必要な要件や手続きを説明します。希望する学生は、事前に経営学部窓口で相談するよう勧めます。

1. 事前申請

早期卒業が認められるのは、本学経営学部にて3年以上在学し、卒業の要件として経営学部が定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者です。ただし、再入学(復学・復籍)、転・編入学及び転籍した学生は、早期卒業の対象とはなりません。

早期卒業を希望する学生は、まず、入学後5セメスター目(3年次春学期)の下記期間に、経営学部長宛に所定の申請書(経営学部窓口で入手できます)を提出する必要があります。事前申請の期間は、6月1日～6月20日(土日の場合は翌月曜日)です。また、申請書の提出は窓口への直接持参(または簡易書留による送付・申請期限最終日必着)とします。

経営学部教授会は、申請書の提出者に対して面談を行うとともに、5セメスター終了までの成績を踏まえて、9月の教授会で、「成績優秀の適格認定」を行うか否かを決定します。

2. 早期卒業時の要件

上記1.の事前申請において「成績優秀の適格認定」を受けた者のうち、3年次末の時点で以下の要件をすべて満たしている場合、経営学部教授会の議を経て早期卒業者を決定します。

- (1) 卒業所要単位を修得していること。
- (2) 卒業所要単位のうち、9割以上がA評価以上であること。
- (3) 入学時から3年次終了までの通算したGPA(累積GPA)が3.0以上であること。

卒業所要単位は132単位。卒業所要単位のうち9割以上とは、119単位以上。上の(2)の「A評価以上」には「RR評価」、「RS評価」及び「P評価」は含まれません。また、(1)～(3)の「卒業所要単位」やGPAの算出には教職・資格科目は含まれません。

※早期卒業の要件を充たさなかった場合は、卒業所要単位を修得していても、3年次終了での卒業を認めず、4年次1年間の在学と最低8単位以上の修得が必要となります。

証明書に関する諸注意

証明書に関しては、市ヶ谷共通項目をご覧ください。以下、諸注意となります。

就職活動に必要な証明書

就職活動の際には企業から証明書の提出を求められる場合があります。この証明書は主に2種類で、1～3年に修得した科目の単位・成績が記載された**成績証明書**と卒業見込みであることを証明する**卒業見込証明書**です。また、場合によっては**健康診断書**が必要なこともあります。健康診断書については下記「健康診断は必ず受診してください」も参照してください。なお、本学では成績と卒業見込みであることを一枚で証明する**成績・卒業見込証明書**も発行できます。

これらは、市ヶ谷共通項目にある通り自動発行機で発行してください。

注：卒業見込証明書は、4年次のみ発行可能です。3年次には発行できません。

※人物に関する証明書…教員採用試験を受験する際、各都道府県によってはこの提出を求められる場合もあります。この書類は**演習（ゼミ）担当教員**の記入が必要になりますので、教員との連絡を密にしておく必要があります。

健康診断は必ず受診してください

大学では毎年1回4月上旬に**健康診断**を実施しています。自覚症状がなくてもこの健康診断で様々な疾患・病気が発見されることもあります。健康管理のため必須であると考えてください。精密検査の結果、必要に応じて治療・病院紹介も行っています。

この健康診断を受けていないと、体育実技の登録・奨学金の申請・就職活動の際に必要な「健康診断証明書」などの証明書が発行できません。健康診断は必ず受診してください。

その他の発行申請手続き

以下については下記の部局窓口へ直接申請してください。

通学証明書（バス） → 学生センター

厳封（本人開封無効扱い）が必要なとき

自動発行機で発行したものについては、経営学部窓口へ持参してください。その場で厳封処理を行います（無料）。

その他のものについては、窓口で申請時にあらかじめ申し出てください。

卒業後の証明書発行の申請

卒業後に証明書が必要になった場合は、オンライン・窓口・郵送で申請することになります。電話での申請は受け付けていません。

オンラインでの申請の場合は法政大学ホームページを確認してください。

窓口での申請の場合は、卒業したキャンパスの証明書発行窓口にお越しください。なお、その際は身分証（免許証等）をお持ちください。

郵便での申請の場合は、申請書（便箋で可）に

氏名（在籍時のもの） ふりがな ローマ字表記（英文証明書の場合のみ）

第一部・第二部の区分 学部・学科 卒業年月 生年月日

証明書の種類・部数 現在の住所・電話番号・厳封の要、不要

を記入の上、返信用封筒（切手貼付）・発行手数料（郵便小為替または切手で）を同封して卒業したキャンパスの証明書発行担当宛に送付してください。

なお、上記内容は、大学の公式サイト「卒業生の方」でも確認できます。また、申請書のダウンロードもできます。

経営学部生のための用語集について

経営学部生のための用語集は、2009年に創立50周年を記念して作成されました。以下の要領で閲覧してください。

- ① 以下の URL にアクセスする。

<http://glossary.ws.hosei.ac.jp/>



- ② 次のユーザー名とパスワードを入力する。

・ユーザー名 hkeiei

・パスワード ieiekh

経営志林について

経営志林とは経営学会が発行している機関紙です。経営学部創設の当初から、経営学およびこれに関連する諸科学の研究・教育の促進を目的とする経営学会により、年4回発行されています。

経営志林は、経営学会ホームページ上で会員向けにネット公開しています。経営学部の学生は、経営学会の学生会員として経営志林を閲覧・ダウンロードすることができます。

次の要領で、アクセスしてください。

- ① 経営学部ホームページ上の「法政大学経営学会」のバナーをクリックして経営学会ホームページを開く。

<https://keieigakkai.ws.hosei.ac.jp/>



- ② 閲覧したい「経営志林」の巻・号をクリックして、次のユーザー名とパスワードを入力する。

・ユーザー名 business

・パスワード eigak

経営志林のネット上での公開は、経営学会会員に限定されています。また、経営学会は経営学の教育・研究に関する種々の活動を行っていますが、当該活動についての情報は、経営学会ホームページ上で一般に公開されています。

オフィスアワーについて

経営学部では、授業実施期間にオフィスアワーを開設しています。

オフィスアワーとは教員が設定した時間内に、学生が教員に「学び」についての質問・相談ができる制度です。経営学部のオフィスアワーは教員と1対1で話すことができます。

【注意】

1. 経営学部のオフィス・アワーは春学期・秋学期の授業期間に限ります。ただし、定期試験期間前1ヶ月のオフィス・アワーは開設しません。
2. 定期試験期間中および長期休暇期間、入試期間はオフィス・アワーは開設しませんので、注意してください。
3. 事前予約は行いません。
相談が重複する可能性や、急用による不在を防ぐために、教員により所定の連絡先への連絡を勧める場合があります。
4. 訪問場所を訪れた際は、学生証を提示してください。訪問場所と相談場所が別の場合があります。

申込方法・詳細については法政大学ポータルサイト Hoppii でお知らせします。

法政大学ポータルサイト (Hoppii) について

大学では、主に下記方法にて、学生の皆さんに情報を発信しています。履修に関する連絡や試験日程、また各種訂正や変更など、重要な情報を自らアクセスして取得していく必要があります。必ずこまめに確認してください。

■法政大学ポータルサイト Hoppii (Hosei portal to pick up information)

<https://hoppii.hosei.ac.jp>



学資支援システム・Web掲示板へのログインはこちら
総合認証(SSO) それ以外(NoSSO)

ようこそ

法政大学公式サイト
通信教育部
全学刊行物
図書館
学生センター
キャリアセンター
総合情報センター
情報メディア教育研究センター
教育開発支援機構
FD推進センター
学習環境支援センター

大学からのお知らせ

【市ヶ谷キャンパス】
【小金井キャンパス】
【多摩キャンパス】

各種リンク

履修の手引き (PDF)
シラバス一覧 (PDF)
教室設備ガイド
Turnitin利用申込 (教職員)
Turnitinログイン
授業支援ボックス (教員)
アカデミック・サポート
グループウェアdesknet's (教職員)
授業支援アシスタント登録
授業用教材印刷代行
学習支援ハンドブック
ピア・ラーニング・スペース
学術研究データベース
お問い合わせ一覧

大学には履修や成績、シラバスなど、学生が利用する様々なシステムやサイトがあります。それら全てのリンク先をひとまとめにしたポータルサイトが「法政大学ポータルサイト Hoppii です。今後、授業や成績、大学からの情報を確認したい場合には、まず「Hoppii」にアクセスしてみましょう。

トップページには各種システムやサイトのリンク先が掲載されており、キャンパス毎のお知らせ(災害等による休講等の重要なお知らせも含む)も確認できます。

ぜひ、自分のパソコン・スマートフォン等にブックマークしておいてください。なお、パソコンとスマートフォンでは、利用できる機能が異なりますのでご注意ください。

<Hoppii からアクセスできる主なサイト・リンク先>

- ・ 情報システム (※1)：履修登録・
- ・ 学習支援システム (2020 年度より授業支援システムから名称を変更しました) (※1)：
- ・ Web 掲示板：
- ・ Web シラバス：
- ・ オンデマンドシステム
- ・ 授業改善アンケート
- ・ Web メール (法政大学専用 Gmail)
- ・ 法政大学公式サイト：災害時の休講情報等緊急時の連絡、

※法政大学公式 twitter でも緊急連絡を通知しています。(https://twitter.com/hosei_pr)

(※1) 情報システムと学習支援システムは別のシステムです。完全な連動はしていませんので、ご注意ください。学習支援システムで履修登録はできません。

<重要な事前準備>

①まずは Hoppii にアクセス！！

大学に関することを調べたい時はまず Hoppii にアクセスしてください。

※この時、入学時に配布された【法政大学統合認証 ID・パスワード】が必要です。不明な場合は富士見坂校舎 2 階の情報カフェテリアで再発行してもらいましょう。

②Web 掲示板をこまめにチェック！！

掲示板が Web 化され、いつでも、どこでも確認できる等利便性が向上します。重要なお知らせはメールでも届きますが、Web 掲示板をこまめにチェックしてください。

※メールアドレスは大学から付与しています (~@stu.hosei.ac.jp)。教員や事務から授業関連の大切なお知らせが届くこともありますので、普段から大学付与のメールアドレスに届くメールを確認するようにしてください。

③学習支援システムもこまめにチェック！！

授業に関するお知らせは学習支援システムに掲載されます。重要なお知らせはメールでも届きますが、学習支援システムをこまめにチェックしてください。

④仮登録を忘れずに！！

履修登録完了までの期間は学習支援システムでの仮登録を忘れずに行ってください。

⑤本登録も忘れずに！！

仮登録だけでは履修登録は完了していません。必ず Hoppii から情報システムにアクセスし、本登録も行ってください。本登録を行わない場合、成績評価が受けられません。

⑥大学事務の電話番号登録をぜひ！！

法政大学経営学部 (03-3264-9332) から着信があったら対応できるように、事前の電話帳登録をお願いいたします。

教職課程について

(1) はじめに

経営学部では、中学校・高校の一定教科の一種教諭免許の取得が可能です。現在は生徒数の減少期に入っていますが、教育に携わる仕事はますます拡大しています。本学でも、数百名の学生が教員免許を取得し、さまざまな教育関連職に就いています。

教員を目指すためには、まず基本的な資格として学士の学位を得る（大学を卒業する）ことのほかに、免許取得のために定められている所定の科目、単位を修得し、さらに実際に中学・高校の教壇に立って授業を行う教育実習を受ける必要があります。中学免許を取得するには、介護等体験実習も必要です。

本学では教育実習の1年前より、実践的な授業を実施しています。また、実習直前には現役の教員を招いて、その豊富な体験をもとに講義を行っています。

(2) 経営学部で取得可能な教員免許状

	中学校一種	高等学校一種
経営学科	社会	公民・商業
経営戦略学科・市場経営学科	社会	公民

(3) その他

教員免許取得のために必要とされる科目・単位数・手続きなど、詳しくは「教職課程履修要綱」を参照してください。なお、教職課程に関する連絡は「教職・資格」掲示板にて行い、質問や相談は大内山校舎1階教職・資格担当窓口および経営学部窓口にて受け付けます。

資格課程について

法政大学には学士の学位を取得するのに必要な課程以外に、次のような特別の資格を取得するための課程が設けられています。卒業後の進路によっては、これらの資格を取得しておいた方がよい場合があるので、関心のある学生はできるだけ受講してください。

(1) 資格の名称

- ・図書館司書
- ・学校図書館司書教諭
- ・社会教育主事
- ・博物館学芸員

(2) その他

上記資格取得のために必要とされる科目・単位数・手続きなど、詳しくは「資格関係科目履修要綱」を参照してください。

なお、資格課程に関する連絡は「教職・資格」掲示板にて行い、質問や相談は大内山校舎1階教職・資格担当窓口および経営学部窓口にて受け付けます。

「成績優秀者の他学部科目履修制度」について

この制度は、学部が認めた成績優秀者について、この制度の対象となっている他学部科目の履修を、一定の条件のもとで認める制度です。制度対象の成績優秀者に選ばれた方は、ぜひ活用してください。

1. 対象者

この制度を利用できるのは2年次生以上です。各学部成績上位5%以内とし、前年度末までの成績により経営学部で認定されます。対象者は年度ごとに認定され、年度末に次年度の対象者に案内文書を送付します。

2. 対象科目

この制度で履修できる科目は、各学部で年度ごとに決定されます。履修可能科目の一覧は対象者に送付する案内文書、教育開発支援機構のホームページ等で確認してください。また、各科目の詳細は科目主催学部のWebシラバスを参照してください

3. 履修について

- (1) この制度により履修できる科目の上限は、年間4科目以内、かつ8単位以内です。
- (2) この制度で履修した科目の成績は、公開科目の単位枠に集計されます。
- (3) この制度で履修する科目については、通常のWeb履修登録ではなく、案内文書に同封する所定の登録用紙を経営学部窓口へ提出して、履修登録を行います。
- (4) 科目によっては、定員が設けられているものや、教員の受講許可を必要とするものもあります。

経営学部独自の奨学金について

1. 経営学教育・研究振興基金 成績優秀者奨励賞

(1) 採用条件

経営学部へ所属する学生のうち、3年次修了時点で120単位以上を修得し、累積GPAの上位者3名に対し授与する。なお、地方出身者とは東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県を除く道府県出身の学生とする。[指名制]

※ただし、以下の学生は対象外とする。

- a. 当該年度の学費・授業料が給付額相当分免除されている者
- b. 当該年度の新・法政大学100周年記念奨学金または法政大学国際交流基金による外国人学部留学生奨学金の奨学生に採用されている者

(2) 給付金額・採用人数

- a. 給付金額 : 年額10万円(給付型・返還不要)
- b. 採用人数 : 3名

2. 法政大学経営学部 赤坂優奨学金

(1) 本奨学金の目的

本奨学金は、赤坂優氏(経営学部経営学科・2005年度卒)のご寄付により創設された、経営学部生のための給付型(返還不要)の奨学金制度です。寄付者のご意向により、経営学部の2年次～4年次に在籍する学業成績が優秀で、将来、事業を起こすことを目指している学部生に対し、資金的な支援を行うことを目的としています。

(2) 出願資格

- a. 経営学部2～4年生で起業に強い関心を有する、学業成績が優秀な者(但し、以下の成績基準を満たす者)。

※当該年度転編入学生、科目等履修生、留級者、休学者（但し本学の定める海外派遣留学によるものを除く）は出願資格を有しない。

b. 前年度の修得単位数が30単位以上（但し、教職資格科目等を除く）

c. 前年度までの累積GPAが2.3以上 ※なお、GPAの算出は本学のGPA制度を適用する。

d. 過去に本奨学金を受給していないこと。

(3) 給付金額・給付期間・採用人数

a. 給付金額：年額25万円（給付型・返還不要）※他の奨学金との重複受給（併給）可。

b. 給付時期：7月下旬（一括給付）（予定）

c. 給付期間：1年間

d. 採用人数：若干名

(4) 出願書類

a. 法政大学経営学部 赤坂優奨学金 給付申請書 1部

※申請者本人が漏れなく記入し、押印すること。

b. 申請者本人の前年度成績証明書 1部

c. 応募者自身による「起業・ビジネスプラン」 1部

※提出様式：A4縦、40字×35行／頁、3,200字以上。ただし、図表は総文字数にカウントしない。

①表紙に起業・ビジネスプラン名（表題は具体的なタイトル名を明記すること）、学生証番号、学科名、学年、クラス、氏名を記載

②事業概要（200字程度に要約したもの）

③事業内容（上記形式で作成すること。）

d. その他大学が求める書類（必要な場合は別途指示する） 1部

※出願書類に不備がある場合は、選考の対象外となるので注意すること。

(5) 出願方法・出願期間

a. 出願方法

上記（4）a.～d.の出願書類をすべて揃えて、経営学部窓口へ提出すること。

b. 出願期間

Web 掲示板に掲載する募集要項を参照。

(6) 選考方法・選考時期

a. 第一次選考（書類審査）

提出された出願書類に基づき、本奨学金選考委員会による書類審査を行う。

選考時期：5月上旬～5月中旬（予定）

合格発表：5月中旬に掲示により行う。

b. 第二次選考（面接選考）

第一次選考の合格者に対して、本奨学金選考委員会による面接選考を行う。

選考時期：5月下旬（予定）

第一次選考合格者への面接日時の連絡は、経営学部事務より個別に通知する。

c. 第一次選考と第二次選考の結果を総合的に判断し、採用者を決定する。

合格発表：6月中旬に、経営学部事務より個別に通知する。（予定）

(7) その他

a. 本奨学金採用者は、採用された翌年5月末まで（ただし、4年生は3月24日まで）に下記書類を経営学部窓口へ提出すること。

①報告書

内容：奨学金受給後に取り組んだ事について（起業との係わりがあること）

（タイトル、レポートの字数、様式については任意とする。）

②会計報告書

内容：奨学金（25万円）の用途について（領収証（本書）を添付すること）

（様式については任意とする。）

3. 問い合わせ窓口

これらの奨学金の問い合わせ窓口は下記のとおりです。

経営学部窓口（大内山校舎1階）TEL：03-3264-9332 e-mail：jkeiei@hosei.ac.jp

VI.市ヶ谷共通項目について

2020年度より、web公開のみとなりました。

Hoppiiより「履修の手引き」箇所をご確認ください。

QRコード



学籍（休学・退学等、学費、住所等変更、等）・履修・キャンパス
サポート・緊急時対応

学則・法政大学憲章・法政大学ダイバーシティ宣言・
校舎案内・施設一覧

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO



学生証番号	
氏 名	